

ブランド

エルヴィ・トンボカン

私の選んだテーマはブランドだ。ブランドと言うのは製品（例えば：Toyota自動車、Panasonic電気製品、味の素）と業務（商品を作っている会社でなく、レストラン、ホテルのような営業だ。例えば：三菱銀行、マクドナルド、Yahoo、100円ショップ）にあげた名だ。このレポートは一般的なブランドを含んで、高級ブランドやブランドデザイナーだけではない。

私は今国際経営学を勉強し、マーケティングが専攻している。ブランドはマーケティングの部分として、もっと深く理解したいと思う。さらにブランドには興味深く、本当に面白いと思う。ブランドはそれぞれロゴがあるし、特徴もあるし、公の印象もある。

日本に来た時いろいろな買い物がしなければならなかったので、知っているブランドを見ると買い物は優しくなった。私にとって、ブランドは製品の特徴を伝えて、非常に役に立つ。

しかし、反面にはブランドが様々な否定的なこともあると思って、いる人々にはブランドは役に立たないと思う。デイスカッション相手の意見を聞きたく、ブランドをもっと深く分かるように、動機になる。従って、この興味深いテーマを選んだ。その上に日本と他の国にくらべて、ブランドに感心する人は大勢いると注目して、面白く不思議な事だと思って、好奇心が強くなる。日本人の若者はまだ就職世界に入るのに、高いブランドデザイナーの鞆や服や傘をよく着ると思う。さらに雑誌によると日本はいくつかブランドデザイナーの世界一の売上国だ。

私にはブランドが役に立つと思って、特に日本に来た時。シャンプーと顔のモイスチャークリームを買わなければならなかった。髪の毛と皮膚が敏感なので、挑戦なく、買うことが困ると思った。だけれども、Kao（花王）と言うブランドがあって、インドネシアにもあるので、Kaoのシャンプーを買った。また、Body Shopのモイスチャークリームが買って、安心した。私は学生として予算しなければならぬので、他のブランドを買って見てのは無駄だ。

またコンピュータを買う時、私は迷って、コンピュータが高くしコンピュータについて全然が分からない。しかし、友達やニュースのおかげでコンピュータのブランドをしていて、信頼できるのブランドを買った。ブランドが知らなかったら、コンピュータの買い物をどうやたて始まるで、時間がかかって、買い物が大変になると思う。

私は服の買い物をする時、新宿にいて、デザイナーブランドの部門にいった。すぐわかっていて、製品は高いはずなので、他の部門に行ったほうがいい、さもなければ時間が無駄になると思う。

ブランドの一つの否定的なことは高い物価。特に人気があるブランドは物価が人気ないブランドにくらべ、大変高いと思う。例えばevian水の物価は他の人気がない水の物価の何倍だ。また友達の影響でブランド商品に買うように圧力をかけられるかもしれない。

また、お仲が空いている時、簡便によしやのオレンジ着板を探す。そうすると私は早いで、あまり高くない食べ物が食べられることを確信がある。他の店を探せば口に似合わない食べ物が食べることになる可能性があるので、卑近なよしやに行ったほうがいいと思って、お金と時間がかからない。

ディスカッション

エルヴィ：インドレさんと早川さんにはブランドを言えばどういう意味だと思う？私ならブランドはとても役に立つと思う。

インドレ：私にはブランドはあまり気に入らなく、服を買う時スタイルのほうが重要だと思う。ブランド品は特別がなく、高いだと思ふ。

早川：私もブランドは気に入らない。私はブランド鞆などが買わない。でもブランド志向人々がいるだともう。

やはり、ブランドを言えば、皆が高級ブランドを考える。私はインドレさんと早川さんに私のテーマについて説明して、例をあげた。

インドレ：そうですね。はブランドは質を認定すると思うだが、ブランドがあまり役に立たないと思う。他の特徴も買い物に役に立つと思う。例えば、人気があるブランドの服なのに作っている国があまり熟練ではないなら、私は買わない。

ブランドが要らない人もいるだね、全然要らないかなと思って、コンピュータの例を説明した。

エルヴィ：私ならコンピュータのブランドがなかったら多分コンピュータの買うのは1年間以上かかると思う。多きな出資ですから・・・

インドレ：うん・・・その場合は多分ブランドが役に立つと思う。

早川：そうですね、パソコンを言えば、日本にはToshibaとか、NECとか、人気があると思う。エルヴィさんにはブランドが役に立つが分かってる、しているブランドを買うと安心して・・・エルヴィさんはどうして日本人がブランド志向だと思ふ？

エルヴィ：よく見えるわよ。まだ学生なのに、日常に高級ブランドの鞆や服などを持つ。またブランドデザイナーの傘を万円以上もよく売れると思ふ、そのような傘は他の国には見たことがない。

インドレ：そうですね、特に日本人の若者は皆同じルイヴィトンの鞆を持っているね・・・私の国にはあまりないと思ふ。私の国なら、沢山人が同じ鞆があれば、買いたくないと思ふ。

早川：そうですね・・・私はブランドがあまり関心しないが、ルイヴィトンが日本には人気があると思う。数年前はシャネルが人気があると思う。

エルヴィ：ブランドのために、一生懸命バイトをする日本人の若者が多いと聞いて、ガールフレンドのプレゼントのためにバイトする男も多いと聞いて。本当ですか？

早川：そうですね・・・私もそんなことを聞いたことがある。また、悪いことする若者もある。例えば、年上の男とデートして、恋愛関係じゃなくて、ブランド品をもらえたり買うことのため。

エルヴィ：それはブランド品の欠点ですね。でも私の友達はブランド品がとても信じて、ヨーロッパに旅行に行った時、泥棒と合った。泥棒が鞆を掠め取って見てが、失敗した。友達はルイヴィトンのおかげで、鞆の紐が折れられなかったて・・・

早川：でもルイヴィトンを持ってから、泥棒を注目された可能性もあるかもしれない。

やはり、人によってブランドが違う役割があり、意見も違う。他の相手から意見を聞いてみた。アンジェラさんはブランドが役に立たないと言って、イさんは役に立つと伝えた。

エルヴィ：例えば、ブランドがなくなったら、パスタソースを買いたい時、どちらが選ぶ？

イ：一番やすい・・・うん違う、値段が間中のを買う。そうですね・・・ブランドがないので、買い物はしにくいですね。上質、デザインもいいし・・・手づくり物で、ひとつずつで綴じたよ。

アンジェラ：私なら、一番安いだ。でも、女として、ブランド品が欲しいな・・・鞆や靴・・・

エルヴィ：どうして？

アンジェラ：ブランド品がいいだよ。姉ちゃんはルイヴィトンの店に働いて、いつも姉ちゃんに靴など頼んで、いいな・・・

エルヴィ：イさんはブランド品が好き？

イ：私はファッションが好きなのに、ブランド品はあまり要らないくて、高いと思う。勿論安いなら買うよ。

アンジェラとエルヴィ：だから、私はアウトレットに行くね・・・

エルヴィ：電気製品と言えば、日本製と韓国の Samsung は人気があるね・・・イさんはどう思う？

イ：私は韓国製品が買うと思って、韓国にサービスしやすいと思うが韓国に帰るまえに Sony を買いたい。イメージがよくて、皆は見るとうらやまし。

アンジェラ：私はブランドの代わりに、友達の進めとか作用を判断する。

そうですね、買い物をする時ブランド以外に、他の考察方法もある。

エルヴィ：例えばね、新しいクラスメートが全体で、ルイヴィトンを着て、イさんは友達になると思う？

イ：始めには多分難しいかな。多分遊びところや生活は違うので、親しくなるのは始めに難しいと思う。

エルヴィ：そうですね。それはブランドの欠点だと思う。他の欠点はあると思う？

イ：時々^{きたい}期待と本物が違う場合あるでしょう。

思い出して、私は日本に来る前に日本製パソコンを買ってしまった。日本にサービスをしやすいつ思っていたのに、日本に行った時、日本にはサービスできなくて、とてもがっかりした。

更に、他のブランドを信じている相手の考え方を聞きたく、ヤンさんとディスカッションをした。

ヤン：私もブランドは役に立つと思う。

エルヴィ：どんな物でも？

ヤン：うん、ほとんど。

エルヴィ：例えば、皿とか・・・

ヤン：うん。特に始め買う時。知っているブランドあったら、買い物は時間がかからないし、壊れにくいかわ壊れやすいかわかるし、安心して・・・エルヴィさんのように、ブランドが役に立つだと思つ。だつど多分違つのはエルヴィさんは日本に来た時 Body Shop だけ買いたいでしょつ？私なら、多分他の信頼があるブランドを買つてみたいと思つ。勿論信じていないブランドの場合は買えないよ。

エルヴィ：ええ・・・でもどうやって分かるか？

ヤン：雑誌や広告や友達の消息などから・・・例えば他の知っている日本製のモイスチャークリームは知っていますか？

エルヴィ：具体的は分からないが Kanebo とか Shiseido は勿論聞いたことがあるし、使っている友達もいるし・・・

ヤン：私なら、その知っているブランドを買つてみたい。勿論冒険的なのですが・・・ブランドがない物と比べて、虞が低いと思つ。そうすると多分もっといいブランドの物を見つかるかもしれない。

そうですね。私は前にブランドに大變頼っているだつ、あまり最大活用しないだと思つ。多分ブランドに頼つて過ぎるので、他のいいブランドが虞になる。

エルヴィ：ヤンさんは買い物する時何が必要ですか？ブランドか値段か効用かイメージか・・・

ヤン：価値だと思つ。

エルヴィ：価値って？

ヤン：うん、価値。商品と値段を比べて。自分にとってその物はどのくらい必要ですか、いくらまで払いたいでしょつ？・・・そのような質問を自分で考えて、価値を理解する。例えば、パソコン買う時勿論ブランドについて情報を探して、いくつかブランドを選んだ。そのブランドから選択をした。例えば私にとって小さく軽いパソコンが必要から、少し高くても大丈夫。ブランドは役に立って、案内として・・・だつどやっぱり自分にとって価値が大

切だと思う。また商品によって何か必要か（値段や効用やイメージなど）違うだと思う。

エルヴィ：ヤンさんにとってブランドは欠点がありますか。

ヤン：値段が高くなる・・・でも有意義だと思う。特に昔と比べて、競争のおかげで同じぐらい質の物は値段が同じぐらいになる。さらに、競争のおかげで会社はよく競争相手の値段を照らし合わせる。

エルヴィ：そうですね・・・

やはりヤンさんは私より楽天的な人で、私の考え方は「ブランド」が「高い」に等しく、ヤンさんはそんなことが絶えずではない。

結論

ディスカッションから明らめ、ブランドは反面がある。ブランドのせいで、悪いことをしている若者もあるし、友人の圧力もあるし、友達になれないもある。私はブランドのせいで、物価は高くなると思っただが、ヤンさんのような楽天的な人にとってそれはいつもではなく、競争のおかげであまり高くないになる。またヤンさんにとってブランドは有意義だ。

また、他の国に比べ、日本はブランドを關心している人が多いだが、全国ではない。早川のような若者日本人はブランドを全然關心しなく、なぜ大勢日本人はブランドを欲しいかよく分からない。やはり、日本人の間にもブランドについて違う考え方もある。

ブランドについて、5人のディスカッション相手から、いろいろな考え方を聞いた。インドラさん、早川さんとアンジェラさんにとってブランドは必要ではないが、イさんとヤンさんと私にとってブランドは必要だ。しかしディスカッションからブランドはいろいろな役割があつて、人によって違う。一般的にはブランドは質を示して、買い物をしやすくなる。ブランドは自分のイメージに役に立つと思っただが、相手にある。さらに、ブランドが役に立たないと思っただが、アンジェラさんには自分と姉ちゃんの影響のために高級ブランド品が欲しい。アンジェラさんには高級ブランド品はデザインもいいし、質もいいと思う。

その上に、相手の意見をきくと、私の考え方は少し変化した。勿論私にとってブランドはまだ必要で、役に立つ。だが、相手から明らめまして、買い物をする時ブランド以外他の点を考えたほうがいい。例えばデザインや物価や作った国や友達の進めやサービスや効用や価値など。さらに、ディスカッションのおかげで私はブランドに頼ってすぎると思ひ知る。他のいいブランドが虞になつて、もっと価値がある物を買えないかもしれない。ですから、今度買い物をする時、ヤンさんのアドバイスをよると、ブランドを最大活用したほうがいい。

終われい

インドレさん、早川さんとアンジェラさん、イさんとヤンさんに特別なありがたいを差し上げます。皆さんのおかげで、このレポートは出来ました。また、皆さんの用に、ブランド以外、他の点を考えて、買い物はもっと面白いになると思う。ペコペコの皆さんもいろいろなコメントをもらって、ありがとうございました。みわさんとゆこさん、いっぱいコメントを書いた、あげたありがとうございました。

このレポートを書くとき大変でしたが、皆さんは楽しんで下さい。

理想的な体型？あるいは、健康？



最近、雑誌や新聞などによると、女性だけではなく、男性にもダイエットは話題になっている。彼らは自分の理想的な体型、アウトルック、また体重を守りたがっている。テレビ番組の俳優さん、また雑誌のモデルの影響で、人々は自分で魅力がある格好のがほしい。ダイエットは今世界中の人気な話題である。

皆さん、自分の体型は格好いいと思うか。また、自分はどんなタイプの人だと思うか。スリムか。あるいは、肥満なタイプか。今まで、自分の体型か体重は満足しているか。

私は背が低くて、丸い型と言うタイプだと思う。もっと簡単に言えば、背が低くて、肥満な人だ。皆さんも絶対賛成だろう。

ところが、中学校3年生の前に、私は30キロも未満、脂肪が全然見られず、代わりに、骨がいっぱい見られた女の子だった。親戚また両親の親友によると、その時の私、本当にアフリカの栄養不良の子供の様子だった。今の雑誌の基準によると、本当に「骨美人」と言える。あぶらを食べても、全然太くなれなかった。私はどうも太くなるように、何回太くなれるさせると言う薬を飲んでも、全然脂肪ができなかった、体重も全然上がっていなかった。

私の子供の頃、体がとても弱かった、いつも風邪か熱があった。1ヶ月の中に平均2、3回風邪が引いちゃった。風邪を引くたびに、絶対痩せてきた。たくさん食べても、あまり太くなって来なかった。太りやすいお菓子を食べても、とても「スリム」な体型を守ることができた。皆さん、うらやましいだろう。また、私は小さいから、鼻アレルギーがあるから、1年365日の中に、300日以上、鼻の嗅覚はなかった。さらに、365日の中に、300日以上鼻で呼吸じゃないで、代わりに、口で呼吸していた。おいしい食べ物、花の匂い、もちろん全然匂わなかった。悪臭と言うひどい匂いも全然匂わなかった。どうも強い匂いでも、私も平気だった。

悪く言えば、ガスも匂わなかった。毒気のガスはひどい匂いだけある、全然見えな
いから、私に対して、絶対危ない。もしガスを出す時、私は中毒になる可能性がと
ても高い。

また、鼻アレルギーのせいで、私はいつも鼻水が出す、たくさんティッシュペー
パーを使わなければいけない。そのため、家の母は私を時々「ティッシュペーパーの
怪」も呼ばれている。ティッシュペーパーを買うお金はとてもかかっていたなのだ。

親戚、両親の友達、同僚、また、クラスメートの両親や隣人などから、いろいろな
医者を紹介させてくれた。しかし、あの先生達へ見に行くと、健康検査をして、私
の鼻だけ問題がある。長い間で強くティッシュペーパーで鼻水を清潔にしていて、鼻
の軟骨と軟組織もう壊した。だから、正常的に呼吸がとても難しくて無理だと言っ
た。私は風邪を引くたびに、鼻アレルギーも一緒にあって、鼻水がいっぱい出て、
呼吸できない。寝る時、鼻水が逆に流れるから、横寝すると、呼吸できなくて、本当
に気持ちが悪くて死にたい。もっと楽にしたら、そのまま座って呼吸して寝る。子供
の時、いつも病気になりやすいから、痩せやすく、体重を増やすことがとても大
変だ。それは、私の子供の時になぜ体重不足の理由だ。

中学校3年生の夏休みの間、健康のために、私は週に3回水泳教室へ行っていた。
そのクラスの中に、私しか中学生じゃなかった、他の学生はほとんど小学生達だっ
た。ただ、彼らも私より背が高くて、体も大きい。私はもちろん恥ずかしかった。
水泳の先生は母に私のことを聞いて、鼻という専門を紹介してもらった。あの鼻専
門の医者は私にとって「神様」みたいだ。なぜなら、私は鼻が悪くなるたびに、あ
の医者の注射と薬のおかげで、すぐよくなる。風邪の時、横寝るもよく寝られてい
た。さらに、その薬を飲んで、食べ物の栄養の吸収はよくなって来る。その時から、
私の体は脂肪が激増できて、体重も急に増やしてきた。また、私の健康もだんだん
よくなっていた。今の私は1年365日の中に、200日ぐらいだけ鼻で呼吸でき
ない、他の日に正常に口で呼吸できるよ。そして、薬のおかげで、今強い匂いもよ
く匂える。

あの医者の薬を飲み始めて、脂肪も体重も増え続けている。私は食べ物の栄養を吸
収できるわけだと思っていた。その時、雑誌またテレビを見ると、皆さんとてもい
い体型を持って、とてもうらやましい。自分もその体型が欲しい。でも、鏡の中に

自分を見て、もうとても太くなって、恥ずかしかった。だから、私はダイエットをやろうと決めた。ところが、何回ダイエットをして、何も食べないで、体重もあまり減られた。激しい運動をやったら、時々倒れたこともあった。私はやはり少し食べて、過激な運動するからと思っていた。

あの日、大学で友達とジムをしていた時、私は突然に倒れてしまった、大学保健所の先生は私の健康のために、詳しい健康検査をされていた。健康レポートによると、私の体はやはり大きな問題を起こった。それは、私は貧血症があり、血圧もひどく低いと言った。そして、先生は私の病歴も聞いた。先生は私の病歴と飲んでいて鼻アレルギー薬の研究し、レポートを書いた。あのレポートによると、私が長い時期に飲んでいて薬、注射した薬はほとんどステロイドと激素という強い薬だ、だから、病気の時、すぐ治せる。さらに、その薬も副作用もある。これは、体の中に正常的な蛋白質を壊して、悪い脂肪を作る。ちなみに、その悪い脂肪という物質は分解できない。やっと、なぜ私は太くなれるかよく分かった。あの鼻アレルギー薬のせいで、私は何回ダイエットしても失敗する。実は、今の私にとって、あの「神仙」医者に会ったのは、とても後悔だった。私は本当にスリムな体型に戻りたい。そういうわけで、健康のために、今の私は風邪をひいても、鼻アレルギーがあっても、体の調子がいくら悪くても、絶対あの先生の「毒薬」を飲まない、一般的な薬だけ飲む。

しかし、ダイエットは今世界中に人気がある話題でも、不正確なダイエットのせいで、健康にどうも悪い影響がある。最近、新聞によって、ダイエット中の人にはダイエットしすぎから、倒れちゃったという事件も多くなりそうだ。あの人たちは短い間に痩せたい、あまりたべなくて、代わりに、たくさん運動をする。また、痩せたい人々はたくさんダイエットという薬を飲みすぎて、死んでしまった事故も多い。あのダイエットのせいで、いろんな事件についての新聞を読んだら、今の私にとって、健康がやっぱり一番大切なものだ。なぜなら、もし理想的な体型を持っても、体はあまり健康じゃない、アウトルツと八いくらよくても、意味がない。さらに、格好いい体型になれるけど、ダイエットの影響で、健康が悪くなって、死ぬ可能性もあって、とても危ないよ。

つまり、自分の理想的な体型になるために、ダイエットをしながら、健康の方も十分に注意しなければいけない。健康的なダイエットを知ろう。皆様、どうお考えになるか。

さらに、小さい頃、病気のせいで、いくら苦しい日々が続いていた経験はとても怖い印象を受けた。そんな苦しさも十分だ、これから一度もそんな苦しい経験もイヤだ。そのため、今の私は自分の健康が一番大切なものになっている。健康は本当に宝物だと思っているから、皆さん、ご健康も大切にしてください。

ディスカッション

🗨️ あなたは今の体型として、ダイエットの必要はかん考えているか。

エルヴィ： 私は一度ダイエットをしようと思ったことがない。私は自分の体型について、太るか痩せるかと言うことはあまり関心を持っていない。インドネシアへ帰国する度に、家族、親戚、また友達も私は痩せ過ぎて、たくさん食べ物を食べさせてくれる。

雪花： 私は昔いつもダイエットをしたいと思った。しかし、ダイエットをしても、失敗名経験をたくさんある。ですから、今の私は自分の体型が少し太いと思うけど、ダイエットをしない。なぜなら、ダイエットをする時、できれば、少し食べ、運動する。一週間を過ぎて、努力のおかげ、1キロ2キロくらい痩せて来て、嬉しいから、一回だけ自分の好きなものを食べてもかまわない。しかし、その後、また1、2キロ太って来てしまった。前いくら努力しても、意味がなくなっちゃった。

茜： 私もそう思う。ダイエットする時、いつも自分の好きな食べ物、お菓子、が我慢しなければならぬ。痩せるために、いつもあまり味が無いものを食べてとてもつまらない。しかし、一生懸命我慢した結果は、本当に少し体重を減らせる。その時、少しお菓子を食べても大丈夫だと思ったけど、やはり太くなってしまった。意味がない。だから、今の私はもうダイエットいやになる。健康の方が注意した方がいいと考える。

千賀： ねえ、これは難しい問題なあ。どこにいと違い考えがあるけど...

茜： えっ、ことろによって... ちょっと説明してくれない？

千賀： 先に強調で言いたいことがある...

茜： なんですか。

千賀： これはオーストラリアにいた時と今日本にいる私の体型大体同じだ。

茜： これは私よく知ってるよ。

千賀： 私はオーストラリアにいた時、オーストラリア人の友達がいっぱいできた。彼らは私よりスリムだった。だから、私はいつもダイエットしようと言っていった。しかし、彼らはいつも「君は全然太くない、もう少し太ってくると、もっと健康的に見える。スリムになったら、栄養不良になるらしい、だから、ダイエットをやめてください。」と言った。彼らは私の太い体型が全然気にならない。ところが、日本へ帰って、友達に会うたびに、彼らは、「何でオーストラリアへ行っても、また太いね。やっぱり、向こうの生活はのんびり過ぎるのせいか。」と言う笑わせる。悪くすると、今の彼氏はいつも「君はとても肥満です。ダイエットをしなさい。」と責めてくれる。だから、オーストラリアに行った時、ダイエットの必要性がないと思ったけど、今またダイエットしようを思い始める。

茜： えっ、彼氏はそんな話しを行っちゃって、ひどいなあ。

小結論

違う国の人とちょっと話して、驚く結果が発見した。自分はダイエットの必要性は医者、また自分で決めることではなく、周りの人々、友達、また恋人などからコメントは強く受ける。また、国によって、理想的な体型の標準も違いそうだ。

🍁 今、世界中には、ダイエットは人気な話題になるとはどう思いますか。また、いいですか。悪いですか。そして、ダイエットと健康の関係はどう思いますか。

アンダ： そうですね。ダイエットは本当に世界中のあちこちでもとても人気がある話題だ。特に、若者の中で、いつもダイエットをしようを聞く。私はなぜそんな人気な話題になるかマスコミが一つの原因だと思う。

茜： マスコミ？

アンダ： そう。例えば、俳優さんの格好はいつも若者に影響させる。その俳優さんの体型がいい、格好いいと言う時、彼らその俳優さんの体型のようにダイエットしようと考え始める。今、ダイエットはとても人気があるのは、やっぱり人気がある俳優さんはスリムな体型を持っているからだ。

茜： そうですね。いつも格好いいの俳優さんが担当した広告の製品もうとても売れるよ。だから、ダイエットについての広告はいつも魅力があって格好いい俳優さんが担当するね。さて、流行のファッションもそうよ。ファッションデザイナーはいつも設計されたファッションはスリムな人に向けそうだ。モデルは着ると、なんかいくらおかしく、変に見える。そのため、皆流行のファッションを綺麗にきられるために、いつもダイエットをしようと言うイメージを受けられる。

アンダ： そう、そう、そう。特に女性たちね。ダイエットのせいで、時々、ダイエットしすぎて、倒れちゃう人々もいるよ。あまり食べないで、たくさん運動量をする、倒れちゃうのは当たり前だ。

茜： ねえ。私もそう思う。最近、ダイエットのせいで、倒れた、死んだと言う事故は増えているそう。本当に怖いよ。格好いいの代価は高すぎるじゃない。アンダさんはダイエットと健康の関係はと思うか。

アンダ： 本当に高いね。私にとって、男性のダイエットは女性より健康向けと思う。なぜなら、男性のダイエットはあまり食べないではない。代わりに、ちゃんと食べて、ジムをすることだ。ちゃんと食べたり、運動もしたりして、とても健康的だ。

茜： 女性の場合は、ダイエットをする時、いつもあまり食べない手、健康にとっても悪くなる。さらに、時々ダイエットと言う薬を飲んで、副作用もあるし、服用過量の際に、死んでしまう機会もあるかもしれない。とても怖いね！

アンダ： だから、いい体型を持つことがいいけど、もし、自分の健康は理想的な体型の交換条件になると、健康がなくなって、悪いなあ！理想的な体型、あるいは、健康、絶対、健康の方が大切だと思う。

小結論

今若者はなぜダイエットしたい原因はほとんどマスコミからの影響だ。自分の好きな俳優さんのようになるために、自分の健康を無視して、一生懸命ダイエットをする。アンダさんとディスカッションをして、男性のダイエットは健康的向けだと言う八始め見つけた。

👁️ **ダイエットと健康は密接な関係があって、ダイエットして、いくら健康に影響がある。しかし、そういっても、誰かダイエットをしなければならぬ人がいると思うか。また、なぜだか？**

アンダ： もちろんダイエットの必要性がある人はいる。例えば、太りすぎる人。健康のために、医者はいつも彼らにダイエットをさせる。太りすぎると、健康に悪い。そして、たくさん病気の原因になります。例えば、高血圧、糖尿病、中風などだ。

茜： それは今の子供はたくさんハンバーガー、マクドナルドと言うファーストフードを田出て、いつも太りすぎになっちゃった。彼らも健康に発育するために、ダイエットしなければならない。

アンダ： そうですね。もちろん、彼らは自分の好きな方法でダイエットしてはなくて、いつも医者のおどり、食べ物を控えて、適量の運動を加えるということだ。そういうダイエットは健康にいい、健康的なダイエットだ。ダイエットが必要かどうか自分の決めることではない、医者、また健康検査によって決めることだと思う。

茜： そう。私もそう思う。医者の指示がないので、飲みすぎると絶対危ない。また、発育中の青少年は栄養バランスはとても大切だ。もしダイエットのせいで、栄養不良になって、本当にかわいそうなあ。

アンダ： だから、健康的にダイエットをするように、教育はとても大切だと思う。ダイエットの必要性の正確観念を教える。例えば、マスコミの影響、健康の重要性、不正確なダイエットの悪い点など...

茜： 教育は本当に大切ね。青少年向けだけではなく、成人の教育も大切だ。なぜなら、成人はよく子供のモデルからだ。もし皆さんも健康の重要性がわかり、正確なダイエット観念がわかり、健康な人生ができそうよ！

小結論

アンダさんは、ダイエットと健康の関係はとても緊密だと言った。ダイエットしてる時、直接に健康にいくら影響がある。また、人々はいつも健康なダイエットはよく分からないので、もし政府か、学校かマスコミなど、健康の重要さと正確な観念を教えられればとてもいいと思う。

結論

違う国の人々とディスカッションして、ダイエットと言う話題は本当に世界中の国々でも人気がある。そのため、違う国にはたくさん違うダイエット方法がある。その中に、面白いダイエット方法を教えてくれた。例えば、中国は針、韓国は一日中足を組んで、それでテープで結び、3キロぐらい痩せられる。爪に違いマニキュアを塗ると、やせることができる。しかし、一番信じられないのはインドまたタイで特別な油でマッサージして、ウエストは6cmぐらい減られる。本当にびっくりしました。

また、理想的な体型は国によって、標準も違う。例えば、アジア系の人によって、理想的な体型は絶対スリムのタイプだ。しかし、欧米の人はそんなに厳しいじゃなく、理想的な体型の標準ははっきりない。しかし、ディスカッションの相手から驚

くことを発見した。それは、ダイエットするかしないかほとんど自分のアイディア、医者意見ではない、友達、恋人、また周りからの評価はとても影響を受けそう。そして、今の人々はマスコミからの影響がある。特に人気がある俳優さんだ。いつも自分の好きな俳優のように、格好をしている。だから、今の俳優さんいつもダイエットをして、皆もダイエットをするわけだ。しかし、彼らは俳優の格好、スリムな体型になりたいだけ、自分の健康をまったく無視するかもしれない。ところが、男性のダイエットは女性のより理智そう。なぜなら、男性のダイエットは減食、薬を飲むことではない、ちゃんと食べて、運動することだ。もしダイエットの目標できなくても健康に悪い影響が受けない。

さらに、相手からダイエットと健康の緊密な関係があると聞いた。ダイエットしてる時、直接に健康にいくら影響がある。これは自分はわかっても、関心が持っていない。相手の話しから本当に私に目覚めさせた。ダイエットしている人々はよく自分の健康は無視するので、不適切なダイエットのせいで、健康に悪い影響を受ける。そのため、人々の健康のために、不適切なダイエットの悪い点が教育しないわけではない。その教育は政府、学校、マスコミなどから実施するべきだと思う。もし私達全員「理想的な体型」と言うことの観念が正確にわかり、一生懸命ダイエットしたスリムなアウトルックではなく、「理想的な体型」は健康的に見えるアウトルックということだ。

つまり、「私はダイエットをしたい。」「痩せたい。」「スリムな体型になりたい。」「何号の洋服を着たい。」などはあまり考えなくなる。代わりに、健康の問題がもっと注意欲しい。

日本の国際化－外国人の目を見た日本と世界

ヤン インファン

1. 動機

日本に来た後でそろそろ半年になっている。10年前に関西地方を旅行した経験があったが、その時に一週間しか時間がなかつたから、日本人と日本の文化には別の興味はなかつた。しかし、去年日本語を勉強する機会が出て、今年から来年まで日本で住むことになった。今まで日本についてよくしらなかつたから、ここで見ると聞くひとつひとつが私にとって面白かつた。ときとき外国人として分からないこともあるし、一方とても合理的だと思えることもたくさん見てきた。だが、一番印象的なことは生活の中で探した日本の国際化だつた。町でさまざまな国から来た人を見ることとその人々が話すことを聞くことは私にとって非常に面白いことだつた。学校ではさまざまな国から留学する友達を合つた。さらに、先日見た日本のサンバフェスティバルは今の日本がどのように世界化になつたか見せた場合だつた。

私は今国際経営学を勉強すると日本のことに興味があるために、日本の国際化についてもと研究するつもりである。そして、今度日本の国際化のテーマを選んだ。

ディスカッション中に話したいこと：

1. 日本人は違う文化について、どのように考えていると思うか？
2. 外国人として、日本の文化に対していい点は何と思うか？
3. 日本人は他の文化について、寛容だと思うか？
4. あなたにとって日本の国際化はどのような意味があるか？
5. 日本の国際化は今からどうなると考えるか？

など。

わたしにとって、国際化は非常な大切な意味がある。国際経営学を勉強している学生として以外に、子供の時以来ずっと他の新しく異国的なものに非常な関心をもってきた人間として、国際化はわたしの夢を成就することである。わたしは将来国際ビジネスに関する仕事をやることを目標である。この目標を達成

できるための前提条件といえば、国際化が一番大切だとおもっている。特別に、日本語を勉強する学生の一人として、日本の文化に興味がある人間として、わたしは日本の国際化と言うテーマを選んだと思う。

2. ディスカッション

わたしはディスカッションの相手として、同じ大学から勉強してきたエルヴィを選んだ。なぜならば、彼女は今までさまざまな国に住んだ経験もたくさんあり、同じ国際経営学を勉強している為いい討論ができると思っていたからである。

討論の前、国際化の意味に対して、様々な意見を交換した。

私：エルヴィは国際化について、どのような意見をもっているか？

エルヴィ：国際化は難しい言葉だけど、特に国と国の間に起こっている全盤的なことだと思っている。例えば、国と国の間に発成する交流とかインターナショナルのビジネスなど、あなたは？

私：国際化に対する私の正義もエルヴィの意見とほとんど同じだ。だけど、その上、自分が住む周りのことと違う事と物に対し活発な理解する努力と他の文化に対する理解。その上、そんな新しく違うものと文化を受け取り、反面、自分の文化を他の国の人達に与えることだと思う。

エルヴィ：さて、あなたにとって日本の国際化はどのような意味があるか？

私：わたしにとって？とりあえず、わたしにとって日本の国際化はわたしの将来の目標を成就するために不可欠な要素である。つまり、わたしは将来日本の企業と事業間系がある企業で働くつもりで、日本の文化に対して色々なことを理解するため努力することがいちばん重要だと思うし、日本人のビジネスのやり方について、事前知識を持っていることが日本の企業とビジネスをする時の成功の重要な要素だと思う。エルヴィにとって、日本の国際化はどのような意味があるか？

エルヴィ：あたしにとって、日本の国際化はあなたのような巨大な意味はあらない。しかし、あたしは今日本で留学生として暮らし、日本の色々なことを勉強するし。もし、今の日本が今のような国際化になれなかったら、多分日本に留学することはごのように優しくなかったと思う。さらに、あたしは今まで、日本に暮らして全然困ることも無く平気な生活を送っている。例えば、生活のやり方はあたしが住んだことがある他の国に比べてほとんど同じとおもうけ

ど。この理由は多分昔から進行してきた国と国との国際化だと思う。もちろん、国によって、違う生き方や生活文化が存在するわけだろ。ところが、今の世界の人だちは公有することも多くなったと思う。例えば、衣と食と住のことはほとんど同じベースを基本になるんでしょ？

私：それはそうだけど。オーケー、次の質問は日本人は他の文化に対して寛容だと思うかどうか？

エルヴィ：日本人は他の文化に対してかなり寛容だと思うけど。その理由は多分日本人の性格に説明できると思う。日本人は自分たちと違うものにいつも関心を表すと思う。多分これが近代日本の国際化を手伝ったと思う。

私：これが日本の近代化の力かもしれない。わたしはその力がある分野の日本の経済と企業集団に競争力を与えたと思う。違うかもしれないけど。

エルヴィ：さて、あなたは今から日本の国際化について、どうなると考えるか？

私：わたしは日本にまだ一年しかいないし、あまり日本の社会について知識もないからよく分からないけど、多分日本でこれから国際化はもっと加速になると思う。この現状は日本だけじゃなく世界のどこでも同じだと思う。なぜならば、インターネットとか通信の手段の発達からみれば。

エルヴィ：どこで、国際化による悪い点はないか？

私：あるけど、悪い点よりいい点がもう多いと思うから大丈夫だと思う。

エルヴィ：もし、他の国の悪いことを貰いすぎるばあいは？やっぱりある場合では先に十分な検討が必要だと思うけど。

3 . 結論

ディスカッションの前、私にとって、日本の国際化は私の将来の夢を成就するものであった。ディスカッション途中と後もう一回考えてもわたしにとって、国際化は非常に大切な意味を持っている。

さらに、ディスカッションを通じて私は、国際化は国にとっても、個人的にも、競争力を上げることを感じた。世界の歴史を参考すれば、分かりやすいと思う。国によって、近代化の中、国際化を目指した国は国際化に目指し無かったくにより先進国の地位をとった。なぜならば、国と国間の交流を通して、国家の競争力を上げることができたかっただろう。

もちろん、国際化の異面では悪い事ともものがあると思う。そして、人々は十分な事前検討を通して国と国間の交流に参加することも非常に大切なものだと思っている。

日本に暮らしている留学生の一人として、日本は様々な点に面白い国だと思っている。日本人は他の文化に対して積極的な態度を持っていると思う。国家の競争力の面から見ると、そのような現状はいいと思っている。しかし、無条件的な他の文化を収用することはかなり危ないと思う。

結果として、わたしは今度のディスカッションを通して国際化の重要度をもう一回確認し、これからもこのテーマについてもっと関心をかけて研究の必要性を感じた。特に、自己開発と国際化の関係に対してもっと考えたいと思った。

4 . 終わり

ペコペコの皆さん、

いつもお世話になっております。おかげさまで、今度の総合クラスに楽しい時間を送りました。さらに、討論を通して、皆さんからいろいろないい意見をもらうことができました。ありがとうございます。

次後の日本で望むことを皆さん成就できるようにこれからももっと一緒に頑張りたいとおもいます。さらに、もっと日本語に上手になるために一所懸命努力している総合クラスの皆さん頑張りましょう。

援助交際

前書き：

動機：現在の社会構造が変わる一方、自分の周囲のことも変わってきたので、この社会で暮らしている私にとって、{援助交際}は不思議な現象にもかかわらず、国民としての義務という視点から見れば、もっと理解し、関心すべきことが肝要ではなからうか。そのうえ、自分の知人のなかにもそういう人間がいるから、これも書きたい一因である。

自身の背景：政治経済に興味を持つ僕は台湾にいった際にいろいろ社会問題に関心おもって、勉強し、理解したい、知りたいという気持ちをもっている。むこうでは同じ考え方の大学生と一緒にサークルを作って、いろんな問題を激しい論議した、それがきっかけで、いま話題になった援助交際に興味を持つようになりました、このテーマをやりたいという気持ちもでてきた。

何時の間にか、台湾首都の台北市内西門町(せいもんちょう)では、女子高校生(の姿)は見ず知らずの男性との援助交際がみられる。そういう社会現象は一体どういう背景(はいけい)での構成(こうせい)だろうか？最初はこの言葉が国内の新聞に日本だけの事情を報道された、現在、ほかの国でも増えている。これは若い世代に伴うさまざまな未曾有の問題の一つだと思う、ということは新たな時代の青少年の価値観を模索(もさく)しなければならぬのではないか。

一方では、先月の新聞紙によると最近の未婚妊娠者が急増してきた、その中に援助交際での割りあいも少なくない、(特にここ数年間女子高校生と中学生の間に広まり)このような青少年における問題の形成などを巡る原因を深く理解しなければいけない。自分自身はこの社会に暮らしているので、関心を持つべきであると思う。

最近テレビを見ると、日本の社会問題についての番組が気になるようになってきた、何故かという、最初は どうしてこの国では社会の雰囲気がおかしくなってきたのか考えたのだけれども、日本での社会問題が、何年かしたら台湾にも同じことがおきてくると思うのでこの問題は僕の国にも関係があることだと思う。

よく親友や友達と一緒にそのテレビ番組を見ながら討論している時に、いつも誰かに聞かれる質問は、もし、将来に自分の娘がそのことをやってしまったら、どうする？という質問で、このような質問をされるたびに返答に困ってしまう。本当にあったら一体どうしていいかやっぱりわからない。親友も冗談まじりでいうけど、考えれば考えるほど、わからなくなるばかりだから、かんがえないことにした。

援助交際というのはなにか：まず、援助交際というのは売春のような性の行為を起こって、それと同時にお金もしくはものなどを提供されることである、じつは売春のような事だが、若さという価値観の差別を持たれている、男女と年齢の平等社会を目指す社会の障害になっ
てはならない。

地域関係：こういう事が起こった地域は都市ばかりだ、何故だろうか？

人情が溢れる場所でやりにくいとおもう、近隣の者がよく知っている状態では対人関係も大切に扱われる、それに比べて、都市は発展と共に、人間と人間の関係が冷めてしまった。

環境的な背景 家庭；ある調査によると、経験者のなかには、八割ぐらいの家庭環境がよくないと認定されています。ということは、親との信頼や感情が不足しているといえるだろう、両親より友達の方が話しやすい、信頼しやすい、それとともに親に関する事はいやだとか、そういう反抗感が強くなってくると思われる。特に自分の欲しいものなんか容易に買ってくれない父親にはけして頼むまいという気持ちをもつようになる。

何か欲しい物があるなら、絶対手にいれたいものだ、もちろん、すべて買ってくれる親もいるけど、親の態度と考え方が援助交際になっている原因の一つとおもう。一方、現代社会では、新たなメディアやコミュニケーションの発達により、直接的な対人状況のかわりに本来あるべき人間関係が薄くなった。

友人：友達から誘ってもらう場合は強い影響を持っている。仲間やいいクラスメートにそのことの情報とか、経験などの話を聞いて、こういう雰囲気が高校生のなかで流行っているから、判断意識の弱い人が自分自身の考え方も変わってきてしまう。とくに、この時期の子は、グループで行動しやすいようだ、また若者の好奇心が強いのも一因だ。

経済的な背景：従来の売春があった背景には、家庭のこんきゅうなどがあったが今では、家庭の経済などがあまり直接的な原因ではなくなってきたといえる。

今の若者の間には持ち物がいいかどうか比べる心理状態や学校、家庭社会規則に反抗的な意識を持っているともいえるだろう。それをやる子は自分の将来への無関心、目の前のことしか考えず、楽しくさえあれば、それを優先する姿勢をもっている。快樂主義的な傾向は女子高校生全体に見られますが、他者の『援助交際』を認める子どもには、さらにこの傾向が強く現れています。

文化的格差：男女不平等な社会では、女性は支配されやすい、『援助交際』がまるで新たな性的な代用通貨のような物で、そのうちに、女性の価値 = 若さという観念が流行っている

1. そういう社会現象に対して、どう思うか？

2. 賛成か反対か？

3. 自分の国ではどうか？

ディスカッション：

阿部：援助交際はいいことかどうかをまずかんがえてみよう

私：ぜったいやってはいけないことだとおもうよ、まず一つ目の理由はたくさんお金をもらって、お金の大切さがわからなくなってしまうからさ。あとほかのみんなもやりたくなくて社会のルールがくずれてしまうからさ。男女平等の理念にも悪影響があると思うよ

内山：私もそう思うよ、もし大人が援助交際を認めてしまったら大人の権威もなくなってしまうだろう。また援助交際という言葉を使っているもじっ際はただの売春である。こんなことを許してはいけない。

阿部：最初に援助交際をしたがったのは大人のほうじゃないのかな。援助交際という言葉を作ったのも大人だしね。

内山：それはそうだけどな。

私：もちろんどちらも悪いと思うよ。あと学校の教育にも問題があるんじゃないかな。女の子たちは自分たちの判断基準をまだ持っていないわけだし。

内山：日本の男は概してロリコンだからな。秋葉原に行ってみればわかるよ。すごいだろあれ！ おれもむかしはじつはさ、、、、、冗談だよ！！ {笑い} 本当になほんじんのこういうふうしゅうは恥ずべき問題だ。

阿部：俺のいいたいこというなよ！！殺すぞ！！ {怒り}

私：実は日本だけじゃなくてこの事は今深刻な社会問題になってるんだよ。たとえば台湾でもさ

阿部：台湾ではどうなの？

私：台湾の若い女の子は日本の影響を受けやすいからすぐ真似してしまうんだ。今アジアの中で台湾は未成年者の妊娠率が一番高いんだよ。特に14歳から18歳くらいがね。

阿部：お金はどれくらいもらってるの？

私：多分1から5万くらいじゃないかな。

阿部：安くないかな？

内山：それは安すぎるぜ！払った大きな代償に比べてな、ていうかそんなに妊娠するという事は性教育を十分に受けていない子供たちが大半なんだろう。セックスは単なる快楽ではなく愛があってこそ成立するものなのだという事を若い人たちには重々おい承知してもらいたいものだな。

私：そうだね台湾ではエーブイを買うのは簡単だけど、やるのは本当に難しいよ！！まあそれは冗談だけどさ。その一方で性教育は十分じゃないんだよね！！倫理観の教育にもっと力を入れるべきだと思うよ！こうして考えると援助交際はすごい問題だと思うよ。もうひとつは、男女平等の社会をめざすことを妨げてしまうと思う。

内山：人間の尊厳の問題にもかかわってくるね。昔は、日本にも遊郭というものがあって、

そこでは借金のために売られた娘たちが売春をおこなっていたんだ。ここで注意しておきたいんだが彼女たちは、決して自分から望んでやっていたのではないんだよ。ところがどうだい。今の娘たちは、服やブランド物が欲しくて体を売っている。このことに関してどう思う、阿部君。

阿部：絶対あとで後悔する日がくると思う。間違いない。ていうか君はなんでこのテーマを選んだの。

私：私の旧友で、援助交際をやっている友達がいたんだ。私は、それを告白されたとき、非常にショックだった。それがきっかけで援助交際に興味をもつようになった。今国民として何かしないとイケないと思うんだ。

阿部：じゃあ売春自体がだめなのかな？それとも若いうちにはやっちゃいけないのかな？

私：僕は売春は年齢に関係なくだめだとおもうよ。他にもいろんな仕事があるからやる必要がないと思うんだ。もしも生きるためなら仕方ないと思うけど。やる理由がわからないよね。個人のじゆうの問題でもあるしね。やっぱり未成年の人はこんな安易なほうほうに慣れてはいけないと思うけど。

阿部：ソープランドで働くのは売春なのかな？

私：非合法だと思うよ。台湾ではもう三年前に禁止されてしまっているから日本も禁止すべきだと思うよ。そうすれば若い人も差別されてると思わないで納得すると思うよ。日本は少し矛盾があるとおもうよ。にほんはソープランドを認めていて他方では売春やエービービデオは18歳から出ててもいいわけだからああいうのもすべて禁止しないとイケないと思うよ。

結論：このレポートを書くために、サークルの勉強会に入って、社会学を少しやってきた、社会学でわかる私の存在や対人関係や家族などの方面までに関するものを理解したいと思った、サークルや総合授業相手にディスカッションしたのもまた素晴らしい経験である、自分自身考えられなかったことを考えさせられた、この過程には日本語の勉強だけではなくて、ディスカッションでの考えかたやお互いを理解できたのも面白かった、とくに、意見の反する人とのケースはやりがいがあると思う。やっぱり台湾における援助交際は日本からの不正なものなので、一応日本にいるうちに、これについての勉強をやりようと思っている。文章表現を担当の先生がよくおしえてくださったから、この国でのさまざまな社会問題であるジャーナリズムの話題を話し合っ、ビデオを見て、感想を書いたりして、色々な知らない情報を手に入れることができた。しかしこの問題は個人の自由をみとめる社会での必然的な問題であるともかんがえられる。援助交際をする人たちは自分がやりたいからやってなにがわるいのだと反論するであろう。しかし、私たちはこういう人たちに自分は社会の一部だということを認識させ、けして自分勝手な意見に、こしつしないようにかんがえかたを変えてもらうための努力を惜しんではいけないとおもうようになった。

ファッション、流行はまねの中の創造である。

イ チャンヒョン（韓国）



目次

1. 動機
2. ディスカッション
3. 結論
4. 終わり

< 動機 >

ファッションは何だろう。我らの自分、そのままがファッションの一部で、また新しいファッションを創造する創造人であるのではないだろうか。つまり、自分、その自体がファッションを描いてある紙も、または描くペンにもなれるだろう。

今は自分を他人に表す時代である。社会的にファッションの影響は人々に社会の基準に合わせて自分をデザインしようにさせてあるにちがいない。自分の姿は自分だけが見るのではなく、他の人も自分の姿、ライフスタイルを見ているのは無意識の中でみんなは意識している。それで小さいものを買う時も自分の考え、そしてそれをやった後の姿を見る人々のことも考える。日常生活の中でこんな時はよくある。たとえば服を買いに行って自分が好きなスタイルの服を探して買う時、隣の友達、または店員から似合わないと言われてたら、普通、自分も似合わないと思って買えなくなる。自分が見て似合うと思ってもまわりの人の意見を聞いたら迷ってしまうのである。自分のものを買って、自分の姿をデザインするのに他の人の意見で変わってしまうのもよくあるのである。

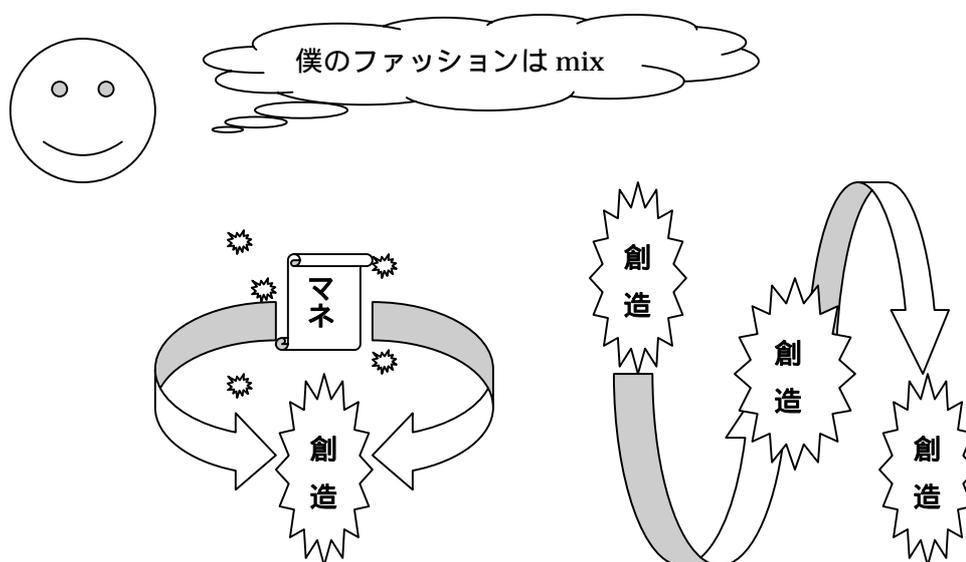
私は「ファッションはまねの中の新しい創造である」というタイトルを選んだ。人々はいろんな姿で生きている。しかし自分も、みんなも決まっている社会的な美の基準を守るために頑張っているのではないだろうか。その基準が悪いかわいさを考え始める前にもう受けているのである。この頃、マスコミの影響はどんな時よりも大きい。そのマスコミ

の影響の一つで雑誌とかテレビの中の美の宣伝は女の人だけではなく、男の人にも大きい影響を与えている。その影響は人々の基準もよく変えるにちがいない。

私はファッションの勉強を始めたい。それでデザイナーと関連性がある仕事をやりたい。それでいろんなファッション雑誌とか論文を読んできたけれどその中にだんだん美の基準、デザインの基準が決まっていくのを感じた。それは自然に普通の人々の考え方もそうに変えて行っていた。私もその中のことが正解として受けていた。それで私はどうしてその基準が決まっているのか。なぜそんなに決まっている社会の基準に越してしまうとイジメられったり、変な視線で見えるかと疑問を持っていた。ファッションの中の私、一人の立場を分かっていることになればもっと早くファッションの舞台に立てるにちがいない。これは私のファッションの考え方と空間の中の自分を探したい。自分でデザインする私を見つたくて自分とみんなにこの質問を投げた。

1. 自分は他人の視線を意識しなければならないものだろうか。
2. 社会の基準は自分の基準になれるものだろうか。
3. 他の人のスタイルを纏めているのか。
4. 自分をデザインする主体は誰だろうか。

私が考えている自分のファッションというのは、、、何だろう。



* いろんなことからの真似の最後には自分だけの新しい創造である。

<ディスカッション>

<社会とファッション> 私の考え。。。

宇宙の一つの行星、みんなは地球と同じ星があると思っているの。もしかしていろんな条件が似ているところはあるかも知れないが 100%同じ姿のものはないにちがいないだろう。人も同じである。ただの人間ではなく、すべての自然のものはそうだろう。

地球には約 60 億の人々がすんでいる。皆、一人一人別の人で住んでいる。同じ条件で生まれた二子だけれど二人は似ている点もあるけれど、同じ人ではない。色と言えば 60 億の別の色があるのである。黒と白の間に生まれたグレイは二つの色とは似ているところもあるけれど、全然違う特徴を持っている色である。つまり、地球は 60 億の色で描いているのである。しかし、だんだん色の統一することが感じられない間に強要されている。例えば、グレイの人に黒になるように強要するのである。60 億の人々は 60 億の色を持って生きていくのに、同じ色を持っているように社会とか他の人から強要されて個性的な色が無くなっていくのである。その社会に生きていくためにいろんなことをしなければならない。

たとえば、たいてい就職のためには英語、パソコンの使い方、面接の時と会社の中のファッションスタイル、そして美しい見かけまで強要されているのである。それは仕事でみんなに必要なものでも基準になっているのである。その中でファッションのこともある。それは仕事の能力くらい大きい影響を与える。まじめな人でいろんな条件に合っている人も面接の時、色っぽい服で行くとその人は面接の時マイナスになる可能性がある。面接時はこんなスタイルの服だともう決まっている社会の基準の一つである。それを守らなければ自分に利益ではない。しかし、それが他の人に迷惑をかけるものでもない。もし、すべての会社員がジーンズで仕事をし始めると何年後は工作中スーツで働くのは変な感じだろう。面接の時も、スーツで行くのが逆に減点になりやすい。それをみると社会のファッションの基準はどう考えるかによって変わるものである。ただ、その姿、ファッションを見る人の考え方にされるものである。私が面接官になって、先のような人を見ると仕事に十分な能力を持っているのでその人をうちの会社に採用する。その人のファッションスタイルは自分の個性のもので、私が、そして社会が侵害できない範囲だと思う。そして私、うちの会社が必要な人はファッションの上まじめな人ではなく、生活の上まじめで技術も優秀な人が必要だけなので大きい問題にはならない。

社会のファッションの基準は時代により、それをみる相手の主観によっていつも変わるものである。社会の全体はいろいろな人の視角があり、一つだけの視角ではないのである。そして社会の基準が人によって自由の範囲を侵害されてはいけないにちがいない。人々のためにいるのであり、人々のための社会の役割が必要である。

ディスカッション - チャーウェイ、アンリ、ディマ

社会のことも人々の約束であり、一つの秩序であるもので社会の構成員の一人でその秩序を急に満たさないで守っていきながら、だんだん直し始めるのがいい法案ではないだろう。社会の基準は変わっていくものであり、いつも社会の構成員の全員が満足する基準は大変なことである。それで社会の基準の問題点があれば、みんなで少しずつ行き直しが今の、また未来のファッションの自由をためにいいたろう。そしてこんな基準も社会によって違うのであり、世代によっても大きい差があるのはいろんな文化がこの世界に存在するの意味するだろう。一人一人の色、個性と同じに社会、世代の特別な文化も認める必要があると思う。しかしい、今の社会的な基準は東洋と西洋の差も少しある。アメリカとかヨロパのほうはあまり他の人の目をそんなに気にしていないほうが多いと思う。それは昔からの作ってきた人々の潜在意識の中で小さくない影響があるに違いない。個人的なことだけでなく社会的なことも一緒に考えるともっといい法案が出るにちがいない。

* 基本的な例、自分の意見と同一内容は省略。

<人とファッション> 私の考え。。

人は自分のスペースがあるにちがいない。たとえば自分の家は社会の中にある自分だけのスペースである。その中では自分が主人公であり、他の人に迷惑がない限り、個人の自由が保証できる場所である。こんな物質的なスペースだけではなく、自分の体、精神的なものすべてが自分のものである。つまり、自分のスペースと、自分が主体になるのはすべてが認められる権利がある。そして自分が作っていく義務も持っているのである。

人は先、書いてあるの通りに一人一人、特別な色を持っている。それは自分のスペース、自分の精神、肉体的なものも自分だけの色があるのである。とどのつまり自分だけではなく、自分が持っているものでも自分のイメージの表しが必要である。たとえば、トマスという男の人がいる。その人は一つの部屋を持っている。彼は女の水着が好きでロックバンドの写真が好きである。それで彼は自分の部屋の壁にいろんなロックバンドの写真と水着で飾りした。ある日、隣の友達が遊びにきて彼の部屋をみて驚いて帰ってしまった。その後、彼はあの友達と他の友達にいじめられた。部屋をロックバンドの写真で飾るのは問題がなかったけれど、女の水着で自分の部屋を飾ったことは友達には認められなかった。急に自分のスペースをみた人から変な人に扱われ、認められない状況になってしまった。みんなはどう思う。どっちが悪いと思う。水着で自分の部屋を飾った人、それをみて変な日に扱う人たちどっちが悪いか。たいていのは彼が悪かったと思うにちがいないだろう。

しかしそれがなぜ悪いか言えるだろうか。どうして彼の友達が彼をいじめるのか彼の友達の見方で言えるだろうか。こんな例ではなく、みんなの学校でイという男の人がいる。彼はスカートが大好きでスカートを履いてもとても似合う男の人である。ある日、彼がスカートを履いて学校にきた。みんなはどう思うだろう。狂人と思って近寄ろうとする人はないだろう。男の人がスカートを履くのは気がふれているのではなくては全然できないことと思う人が多いにちがいない。彼はもう学校を通うのは大変だろう。もしそのまま学校を通うと他の人たちの熱い視線をもらわなくてはならないだろう。

これはどっちが間違っただろうか。私は後者のほうが間違っただのを選ぶ。先の例のように彼は自分が好きなことで自分のスペースを飾ったことだけである。それが他の人からは認定を受けないことだけである。それを認めなかった人たちは彼のことを見て理解するとき、自分の考え方、基準だけが正しいと思っているのではないだろうか。他の人のこととか、自分と違う考え方、基準があるのを認めればそんなことはないだろう。二つ目の例のことはまず、スカートは女だけのものと思っている人たちが多だろう。しかし誰もスカートは女だけのものとは言えないだろう。もしスカートは女だけのものだったら、ズボンも実は男のために作られたものだったのも知っているだろう。今は女も動きやすいのでズボンをよく履く。スカートよりズボンのほうが好きでズボンだけを履く女の人も多い。それではその女は変な人だろうか。今は女もズボンは履いてもいいと言えるだろうか。そういえばスカートも女だけのものではないのである。最近のファッションショーでは時々男の人でもスカートで自分をデザインしてワーキンをするモデルも見える。ファッションショーだけではなくミュージックショーの中でもズボンとスカートで自分をデザインする人もかなりいるのである。全然変なことではない。例の二人の人は自分が好きなファッションを追求したのではないだろうか。誰も社会の基準、他の人の視線を意識して自分がしたいこともできないのにあの二人はしたいことを自然にしたかも知らない。それで正しいかどうかも知らない多数に押されたかも知らない。これは少数の意見、考え方を無視する現在の横暴ではないだろうか。

ディスカッション - ひろみ、エルヴィ

ファッションの個性を認めるのが必要である。みんなが自分だけの基準で他の人を評価しないで、相手の基準もあるのを認めた後に目前のことを眺める姿勢が必要である。他の人の存在を認めれば自分だけの社会ではなくみんなの社会になり、いじめしたり、少数の意見を多数が無視したりする不当な社会の姿が少なくなるだろう。しかし自分の空間だから何でもやりすぎると感じられるとそれは無理なことに違いないだろう。自由があるからの問題の以上にそれが勝手に何でもするのだけだったら自分らしいデザインでも無理がある。そして自分の考えは自由にするようにしても実際的に社会の生活をするとな自分が考えたように全部うまくできるのではないだろう。現実と理想とはいつも距離はあるのであ

る。それで我慢するのも社会生活に必要な姿勢ではないだろう。

* 基本的な例、自分の意見と同一内容は省略。

< 自分のイメージ、主人は誰 > 私の考え。。。

世界的に有名な会社の中で S、P、C、N という四つの会社がある。それぞれの会社は自社のイメージを持っている。デザインがシンプルで軽い、強い、小さい、カラフル、いろいろな良いイメージを作っていく。それはこの四つの会社が同じものを作っても消費者は製品を見て会社のイメージを考えて買う。そのイメージが付けているのが良いか悪いかではなく、この四つの会社は自分だけのイメージデザインができていけるのを知る。会社のイメージが製品にも伝えるのである。ただの会社の名前を聞くと我々が「・・・だね、その会社の製品。」というのである。この会社は初めから、いろんなイメージを同時に作ってきたのではない。一つの自社だけのイメージを作った後、また会社に似合う新しく良いイメージを探して作ってきたのである。

人のことも多い違わないにちがいない。人は選べる機会がある。自分と関係があるものをデザインするためにいろんなことから選べる。それは自分だけに選べる力があり、主体は自分だということではないだろう。いろんなイメージを作られるので、その中で自分のイメージを作っていくアイテムを一つずつ探して自分をデザインするのである。自分をデザインするアイテムというのは服、アクセサリ、飾り物だけではなく、仕事、家、車、性格などのいろんなものである。こんなに多いアイテムで自分をデザインするには自分を知っているのと自分の個性を持っているのである。

あのモデルの服が気に入り、私にも似合うだろうと思って買うのはよくあることである。あのモデルが着ているから私も買うのではなく誰が服のモデルだったのは関係なし自分が好きで似合うと思って買うのである。服を買う間に自分と服のスタイルの関係だけがあるのである。しかし、自分が好きな人とかあこがれる人がしているすべてのものを買って着たりすることもかなりある。そのものが自分に必要か、似合うかは関係なし、ただ好きで、あこがれる人がしているのでファンで全部収集して自分を飾りするのである。自分もその人のように、同じ人になろうとするのは無理ではないだろうか。モデルとかスターは自分とは別の人で自分に選ぶ機械を提供してくれる存在である。自分と同じ存在ではないのである。自分の生活リズムを勝手に変える主体にはならないのである。これはこの頃ファッションの商業的によく使っている販売戦略だけである。またファッションの販売戦略の一つで使ったことがルーズサックスである。ルーズサックス知っているだろう。それが日本に初めに広告した時、どうやったか知っているか。何十人のモデルが同じ時間に東京の中心の町と歩き回りながら、広告をやった。何にも言わないでただそのルーズサック

スを履いて日常生活の通り町を歩き回っただけで無言広告をした。人々はそのモデルを何回も見た後、それがきれいに見え初め、流行っていると思って同じ買い始めて流行したものである。これは人々の心理を利用して広告を繰り広げるのである。こんなことは自分が考える前にアイテムを生産したのから無意識のなかで支配されるのではないだろうか。

みんなもそんなことをよく見たり、または自分もそんなことをしたりするだろう。たとえば有名な俳優が使った高級なアクセサリがみんなに流行って、町を歩いていくと回りの人々が同じな飾りをやっているのをよく見たらろう。誰彼なしにみな同じものをやっている。似合っている人もいるしそうでない人もいる。選ぶ自由を持っている人間だけけれど、アンバランスの自分の姿を好きな人がいるだろうか。本当の美しさは自分に一番似合う姿で自分をデザインしたのではないだろうか。

ディスカッション - マット、アンゼラ

みんなは自分だけの空間、スタイルがほしがる。他の人と同じスタイルではなく、このスタイルは私のスタイルといえる個性的な姿をほしがり、多様な社会にも一つのスタイルではなくいろいろの姿、スタイルが必要である。人々は他の人の姿をそのまま真似するので止まらないでその真似の中で自分らしさをアピールするのがいい。自分の姿の主人は自分であるのが当然である。それが本当の世界一つの美しさである。そうするためにいつも自分のことに恋と自身を持って身なりを整える姿勢が必要である。

* 基本的な例、自分の意見と同一内容は省略。

<個性、多様性、認定 そしてファッションの流れ>

ディスカッション

- 皆：チャーウェイ、アンリ、ひろみ、ディマ、マット、エルヴィ、アンゼラ。

人間が出現して自然と釣り合いを取り、調和のとれて生きてきたのはもう長い時間が流れた。自然のものの一つの間はその長い歴史の間、自然の中で人工物を創ってきた。それが文化というものである。その文化というものは地方と時代によって全部違う姿である。それが文化の一つの特徴といえる。文化が創られた時代の社会の背景や環境的な違いなどいろんな理由で特別な文化を創られた。文化のまた一つの特徴といえるのが同時代と同じ場所では似通っているのである。

たとえば、バロック時代の建物を見ると同じではないけれど似ている感じがする。しかし同じではないのである。それでは今のアパートを見よう。アパートの形はたいてい似

ている。それでもそれぞれのアパートが全部同じではないだろう。部屋の見取り図は全然違うだろう。これがアパートとしては個性があるといえるのであり、同じアパートという建物だけれどその中で多様性があるのである。そしてみんなアパートはそれぞれ違いがあるのを認定していき、アパートを仕入れるときはその違いを考えてお金を払う。

人間のことも同じである。はだかの人は男、女で明らかに区別されるけれど、みんな同じのではない。見てくれは男性、女性の姿で似ているけれど、一人一人別の人である。すなわち人は個性、多様性を持っている存在ということである。それを認めなければ人々の個人性、個性はなくなるだろう。そうになったらファッションのことは誰かに決まって大衆に売るものに過ぎないにちがいない。人々の自分の主観がいらなくて有名なデザイナーとか生産者が選んでモデルで広告するだけで過ぎないかも知らない。そしてそれを受け入れない少数は非難を受けるにちがいない。

今の社会では大数の意見を引き受けない少数は不当な非難を受けたり、いじめされたりする。ファッションのことで例外ではない。社会の基準を超えたら悪い目にあうのが多い。それはただ、大衆の立場で決めた基準だけでみんなの基準ではないだろう。そんな基準をみんなに強要されるのは不当なことにちがいない。個性、違いを認めないことである。人の一人ずつの違いを無視して大衆の基準についていくように強要する横暴、犯罪になれるかも知らない。

ファッションのことは個性が必要で、他の人のファッションのスタイルを自分の基準で評価してしまうのは正しくないにちがいない。自由の中で自分をデザインした人のライブスタイルの違いを認める必要性がみんなに要求される。人々の基準は多様性と個性の存在があり、それを認めた後、作っていくものである。

< 結論 >

いろんな国の人々と私のディスカッションをした後、文化だけではなく考え方の違うのを分かった。みんな社会と他人とことが自分のファッションスタイルに大きい影響を与えと言った。その中で社会の基準と他人の目、視線が今頃干渉しすぎるのを分かっているのがそれを気にしなくて自分の好きなことで自分をデザインするのが大変なことだと言った。社会の基準の変化は時がたつと自然に変わっていくものであり、社会の基準を超えるようにするのはよくないかも知らないという意見には私も同意して少し受け入れた。しかしその意見のちなみに社会と他人の基準の中でもみんなの考えで干渉しすぎるのは一人一人変わっていくのが必要だと私の意見が一致した。私はただ変わるまで待っているのではなく積極的に推進するのが必要という意見は変化しないのである。そして最近世界中の問題の一つ、いじめられるのもファッションと関連して自分の基準ですべてのことを見ようとすると大数の間違いと考えている人が多かった。社会と他人の役割が個人のファッショ

ンスタイルに少なくない影響があるほど、自分、一人一人の考え方、行動がどんなに重要なかを考えなくてはならない。そして自分のファッションをデザインすることに100%自分だけの力で作っていくのは無理があり、ファッションの専門家のような人の意見も批判した後、自分に似合うものを受け入れて自分をもっと発展的な自分をデザインするのが必要である。その前には自分のことを分かるのが必要であった。そして自分の社会的な立場も考えて社会と調和の取れた個性的な自分を作るのがいいと意見で私もその方は新しく受け入れた。また自分のファッションの世界を認定させたいほど自分との別の人々のファッションも認められる姿勢が必要である。

社会の構成員、みんなが一人一人の個性的な色を守ってあげれば、カラフルな社会になり、みんなが共存共栄の社会になりそうにちがいない。自分の社会がみんなの社会のものになるうために構成員一人一人が自分らしいスペースを持ち、スタイルに自身を持っていくとファッションはだんだん発展していくにちがいない。他の人が持っていない自分だけの美しさを見つけて養ってファッションの未来、ファッションの多様性を待って行こう。

終わり

ディスカッションの部分は一人一人の内容を自分が短く整理したものです。私の考えの方が初めから私が思っていたことでみんなとディスカッションする時の例とか立場をそのまま載せました。

この授業でいろんな人々との話す機会ですっと持っていた今までの自分の考え方に変化があった。そして韓国の人だけではなくいろんな国の人とのディスカッションは私のもっと広い考え方を教えてくれた。また、総合の授業の特徴の一つ、皆との話しながら、いろんな討論しながら自分のテーマについて考える機会を作ることができてよかった。それでたくさんの友達も作ってよかった。一学期の間、みんなにお世話になって自分に本当、大切な時間だった。私のディスカッションに参加してくれたたくさんの人たちに感謝している。皆さん、本当にありがとうございます。

外来語の善悪

タムリン、アンダリナ
ペコペコグループ

目次

- * 動機
- * ディスカッション
- * 感想
- * 結論
- * 終わりに

動機

私は日本語に対して一番興味を引く物は外来語と言うことである。なぜ外来語について非常に興味があるのはこれから説明したいと思っている。

私は6年前の時交換留学生として日本へ勉強しに来たことがある。その時私の日本語は自己紹介しかできなかつたためちょっと困った。日本語があまり話さなかつたのせいでさまざまな経験が起つた。

ある日マクドナルドと言うファースフードレストランへ行ってハンバーガーを食べたかつたから店員さんに“hamburger please”と英語で言った。“はい、ハンバーガーですね、少少お待ちください”。突然私はびっくりして大変迷っていた。あのハンバーガーはhamburger と言う意味が分からなかつたからである。大変困った。

しかし、外来語の便利さもあるだと思っている。日本語があまりわからなかった私にとっては漢字を読むのが無理だったからカタカナで書いたある文章がやはりその時楽だった。例えば駅の名前や場所の名前などをもしカタカナで書いたあるならとても役に立った、さらに十ヶ月過ぎて外来語はやはり便利な面もあるし不慣れた面もあると考える。

インドネシアでは外来語も使っている。インドネシアで使っている外来語はやはり英語やフランス語やオランダ語などから取り扱うものである。しかし日本語の外来語よりインドネシアの外来語は数によって少ないと思う。それで、もとの言語の意味と全く同じ意味で使っているから非常に楽と老います。またはインドネシア語はローマ字を使っているから英語やフランス語などと同じ。だからインドネシア語の外来語もローマ字で書かれていて日本語の外来語よりずっと分かり易いと思う。

帰国した後に私は日本語の勉強を進んでいてとともに外来語に対して関心がますます強くなって来た。また今回日本へ来てもう三ヶ月になった。6年前と今の日本はだいぶ変わったと思う。最近日本で、特に東京の中によく外来語をどこでも使われている。日常の会話や店の看板や雑誌などである。あれはどうしてだろうか。やはり漢字よりカタカナのほうが読みやすいだろうか。または今の日本人、特に若者は日本語より外来語で書かれた言葉を求める傾向があるだろう。それとも、今の日本はもう国際関係が非常に多い国だから外来語で書かれた言葉がますます増えていくだろう。

しかし、今、前より私の日本語能力はますます発展しているのに、まだ日本語の外来語は難しいと思う。ラジオやテレビでやっている番組を見て、または日本人の友達や先生のお話を聞くとすぐ理解できない場合もあった。やはり最近日本では新しい外来語をよく使っているだろうと思う。それとも新しくて意味

が元の言語と比べると全然違うケースもあると思う。例えばスキンシップは英語の言葉から skinship からとったと思ったら実際には違い意味である。

6年間前の私はファーストフードレストランで経験したことを見ると今の私はやはりレストランで注文する時外来語で書かれたメニューと日本語で書かれたメニューを比べるとやはり外来語で書かれたメニューのほうが分かり易い。食べ物の名前なら意味がそのまま同じだから楽である。

映画のほうがまた違うと思う。日本の映画館で貼ったある映画のタイトルや俳優の名前は大体カタカナで書いた。あれを見るとやはり不便だと思う。どうしてもそのまま英語で書けないのは分からない。もし英語で書けばもっと分かり易いだろう。

私にとって外来語は非常に面白いと思う。ある時外来語の意味と元々の意味が全然違うし、または発音も全く変わった時もあったりたいへん困る。しかしすぐ分かりやすい時もあったからとても便利だと思う。皆さんはどう思いますか。またはなぜ今外来語を非常にどこでも、何についても使われているだろうか。皆さんのお国ではどうでしょうか。今回は私が書きたいのは留学生として、私と皆さんの意見や経験を外来語についてことである。

❁ ディスカッション ❁

日本では特に東京でよく外来語を使っていると思いますか。

私：皆さんは東京で外来語を使いすぎと思いますか。それとも、理由はなんですか。

アカネさん：そうですね、前あまり考えなかったけどアングの文書を読んでもやはり使いすぎと思います。どこの辺へも行けば店の看板半分くらい外来語で書かれてあると感じます。

サンミさん：やはり今の状態はやりすぎですね。自分の国の言葉であるのに、わざわざ他の国からの言葉を使っている日本語の外来語はおかしいと思います。

皆さんのお国と比べると今の日本の外来語はどうか。

私：インドネシアでも最近よく外来語を使っているけど使いすぎまではないと思います。あれはたぶんインドネシアでは元のインドネシア語とインドネシアの外来語も両方ともローマジで書かれているからあまり目立つに見えない場合もあると思いますがみんなの国ではどうですか。

アカネさん：香港では外来語はないと思います。昔から広東語と英語を使っているから、区別することができない。だから、今まで外来語と言う言葉がないと思います。

メロディさん：台湾では全体の外来語を漢字で書かれています。

インドレさん：リトアニアでは外来語あることはあるけど日本よりずっとずっと少ないと思います。インドネシアとおなじローマジで書かれてある。

サンミさん：韓国では今も外来語の数がどんどん増えてきます。でも日本とは同じではありません。日本ならさまざまな国からの言葉を引き取っているが、韓国の場合はただ英語、中国語、と日本語から引き取っている。だから日本より外来語の種類がずっと少ない。

私：やはりみんなもそう思いますね，では韓国では韓国語を使っているですね．
韓国の文字は何ですか。外来語の場合は何字で書かれていますか。

サンミさん：ハングルと言う文字で書きます．外来語の場合はハングルとローマジを使っています．店の看板は半分ローマジで書かれて，また半分はハング
ルで書かれています．映画のタイトルなら全部ローマジで書かれています。

日本語の外来語に対して便利さを感じますか，または不便さを感じますか．

私：じゃ，みんなにとっては日本語の外来語はやはり便利ですかまたは不便で
すか．私なら、先動機に書けた通りに便利さも感じているが、やはり不便さの
方が非常に感じています。それで何か経験がありますか。

アカネさん：外来語は不便と思います。発音も難しくて分かりにくい、特に国
の名前．私はいつもオーストラリアと言いつらいと感じています．何回も何回
も聞いたのに、すぐパット分からなかった場合もありました．英語の発音のほ
うがすぐ分かりやすいと思います。または映画館の場合はやはり、そのままロ
ーマジで書かれてほしい。

インドレさん：私も不便と思います．でもちょっとアカネさんと違って、私に
にとってはやはり外来語の書き方が難しいと思います．いつ長いアクセントをす
るかまたはいつてんてんを使うか丸を使うか。

サンミさん：英語をあまり分からない私にとっては、やはり日本では外来語が
あると便利だと感じています。新しい外来語を聞いた時にそのままで覚えてい
るから。アカネさんやアンダさんならたぶん、すぐ英語の元の発音や意味で考
えているから複雑になると思います。

裕子さん：すごく便利。外国人と英語で話している時にある単語または、言葉が分からない場合はすぐ外来語から引き出して使って便利です。外来語はやはり大切だと思います。もし映画のタイトルはそのままローマ字で書くと大勢の人々が読めなくなる可能性がある。やはりカタカナの方が漢字より読みやすいだから。

日本では外来語がどこでも、何についても使われている理由は何だと思いますか。

インドレさん：多分みんなは英語っぽい言葉を使うとかっこいいと思われているかもしれない。それでかっこいいと思われているとともに流行になっているらしい、特に若者の間に、最近米国やヨーロッパからの映画や音楽などの影響が強いからどんどん新しい外来語を使う始まりになると思います。

アカネさん：日本はやはり昔からアメリカに憧れているから。何でもアメリカ向くに行っていると思います。だから言葉に限らずに影響がすごいだろう。インドレさんと同じみんなはもし英語っぽい言葉を使っているとかっこいいとすぐ思われているそうです。国際化にも関係があるかもしれませんね。

感想

サンミさんとアカネさんとメロディさんとインドレさんと裕子さんとディスカッションしながらますます外来語について感想が高まってきた。なぜかというところやはり人によって考え方とか便利さまたは不便さがばらばらと思っている。アカネさんとメロディさんとインドレさんとディスカッションした時とやはり

みんな三人とも英語の能力が高いから日本の外来語の不便さがよく感じている。または台湾では全部野外来語漢字で書くのがとても珍しいと思っている。アカネさんのお国では外来語がない状態も初めて聞いたからとても面白い。前の私はこんなに様々な差が存在ある野が分からなかった。

一方で、サンミさんと裕子さんと一緒に話したらまた違う雰囲気があった。二人の考え方はやはり私とちょっと違う。あれの一つの理由はまた英語があまり分からないからやはり外来語画ある場合のほうが便利だと言われた。

ディスカッションをする前の私はあまり英語の能力に関係がないだろうと思っていた。しかし、ディスカッションしたらやはり日本の外来語は大部分英語から育っている言葉だから英語の能力に深い関係があるだろう。それだけではなくみんなと一緒に話をかけてみんなの目から見る今の日本の外来語は非常に面白いと思っている。

結論

外来語と言うことはやはりどこの国でもあることはあるけど日本ほど多いのではない。私にとって、やはりどこの国の言葉でも外来語は珍しくて面白いと思います。前から今まで様々な経験があって、他の留学生とディスカッションをしてこのレポートを書きました。外来語は日本人や英語があまり分からない人にとってはやはり大変便利さが感じていうるそうですが私にとってはやはり不便さの方がまだ多いと思う。

皆の国では私の国と同じ最近国際化の影響を受けている、でも国によって影響の場面がやはり違うと思います。どうして今日本ではこんなに外来語を発展されているのかは国際化に関係あるに違えないと思う。

私は留学生にとしてみると便利さより不便さのほうが多い。英語ができるかまたはできないということにも関係があると思っています。その一方、便利さや不便さと言うことはやはり人によって違う。ですから、勝手にはっきり不便、または便利とすぐ言えなからう。

❀終わりに❀

このレポートを書く前にあまり自身がなかった私にいろいろアドバイスをくれたり、相談をしたり、批評をしたりした人々に心から感謝したいと思う。それに、ぺこぺこのグループの皆三にもたくさん思い出が出来て、面白い事や、または辛いこともあった、一生忘られない。アカネさん、イサンミさん、メロディーさん、インドレさん、裕子さんにも様々な考え方や感想をもらってとても嬉しい。一番大切なのはこのレポートを書いた後、自分の自身も段々高くなって、これからもまた日本語でこい風なレポートを書くつもりであろう。皆さんもお疲れ様でした。

バイリンガル教育

メロディ（陳亮うん）

目次

一、動機	1
二、ディスカッション	2
1. 《2003.11.28 エクさんと私》	2
2. 《2003.12.05 アンジェラさんと私》	5
三、結論	8
四、終わりに	9

一、動機

現在、世界各国の言語事情を見ても、歴史的に見ても、複数言語を使用する国が多く、二言語併用とか三言語併用の生活をするのは珍しくない。また、子供をバイリンガルに育てることは知的な発達をより刺激し、思考の柔軟性や創造力を高めるとか、言語感覚を鋭くし、異文化理解を深め、第二、第三のことばの習得に役立つという魅力的な見解があるので、国際化の歩みがどんどん速くなってきた現在、子供の将来を考え、親はもちろんバイリンガル、さらにはマルチリンガル能力を子供に持たせたいと思っている。

私の場合は小さい頃から父の貿易の仕事で私が英語に触れるチャンスも沢山あった。知らず知らずこのバイリンガルという環境で母語だけでなく英語も自然に習得してきた。バイリンガル教育のおかげで、中学校からの英語の授業は私にとってやさしいと感じていたし、他のクラスメートより学習意欲も高かった。また、大学から始まってきた日本語の学習は、昔英語を学んだときに持っている優勢はないが、言語感覚が鋭い私は第三言語の学習に情熱を燃やしている。

また、台湾大学在学中、教師からも、周りの友人からも日本人と台湾人の国際結婚の苦楽について学び、特にこの国際結婚の家庭に生まれた子供たちの言語習得状況に大変関心を持ってきた。なぜかというと、親が国際結婚だから、子供たちは必ず私が育てられたバイリンガルよりもっと自然な環境で二つ以上の言語を学べると思うからである。でも、国際結婚に生まれた子供たちにしても、両親が作ってくれるバイリンガル環境で育てられた子供たちにしても、私と同じように喜んで学習し、しっかりと適応できるのか、それとも、その環境に排斥感を持っているか。もし、バイリンガルどころか母語さえ持たない子供になってしまい、学習が遅れ、学業ばかりか、人間としての心身の発達にも影響が出るよう

なことがあるなら、その対処法を考えなければならないだろう。

現在、世界中の職場から見れば、いくつかの言語が話せる人たちは確かに他の人々より有利な立場に立っている。たとえば、私が日本に来る前に、台湾のある科学技術のパソコン会社でアシスタントのアルバイトをしていて、当時のバイトの募集条件は英語だけでなく、必ず日本語も話せるということである。私は言語能力の重要性をそのときに強く感じていた。

バイリンガル教育は私にとって、ただ言語感覚がもっと鋭いとか、第二、第三のことばの習得に役立つなどだけでなく、自分の人生の中において、本当に価値のある経験である。だから、今四つの言語が話せる私にとって将来、もちろん自分の子供にもできれば早くバイリンガル教育を与えたいと思う。現在、国際化の社会で暮らしている我々は、時代に遅れないように誰に対しても、バイリンガル教育の必要性は疑いには及ばないと思う。

皆さんとディスカッションしたい問題：

- バイリンガル教育について、どう考えているか。皆さんはこのような経験があるか。
- 将来、自分が親になってから、子供にバイリンガル教育を与えたいか。また、母語以外には、第二言語とはどの言語を選ぶか。理由は何だろうか。
- 第二言語だけではなくて、母語さえうまく使えないという心配があるか？もしあれば、何かいい解決策があるか。
- 同時に二つの言語を子供に教える場合には、子供に混乱させないようにどんな教え方をするか。また、何か特別な教材を使うか。

二、ディスカッション

1.《2003.11.28 エクさんと私》

(エクさん：モンゴル出身 テーマ：自然と私)

バイリンガル教育について、どう考えているか。
皆さんはこのような経験があるか。

私：エクさんは今いくつかの言語を話せますか。

エクさん：僕の母語はモンゴル語で、小学校からロシア語を勉強し始めました。

私：どうして小学校からロシア語を勉強する必要がありましたか。

エクさん：モンゴルの場合は、日本の中、高校に英語の授業があると同じように、小学校

からロシア語の授業が必ずあります。なぜかという、僕の小学校の時は、八十年代ぐらいでしたが、ロシアの影響を受けていたので、ロシア語は絶対学ばなければならなかったのです。

私：それではロシア語が国の第二言語ということですよ。それでは、英語はどうでしょうか。

エクさん：最近、皆さんが英語も大切だと思っているから、英語を学ぶ人数もだんだん増えてきて、僕も大学から英語を学び始めました。また、新しく作られた学校だったら、英語とロシア語を両方とも教えています。

私：モンゴル語、ロシア語、英語、すでに三つの言語が話せるエクさんはなぜまた日本語を学びたいのですか。また、初めて日本語という言語に触れたきっかけは何でしょうか。

エクさん：子供のごろから日本語を学ぶのは僕の夢でした。日本のモンゴル大使館に勤めている叔父さんのおかげで、小さいときから、よく日本語の絵本や日本文化などをいろいろ教えてくれました。最初はただ日本に興味を持つだけだったけど、時間が経つにつれて、僕も叔父さんのようになりたいという気持ちが出てきました。だから、将来日本のモンゴル大使館に勤めたい僕にとって、日本語が話せるということは絶対不可欠条件だと思っています。

**将来、自分が親になってから、子供にバイリンガル教育を与えたいか。
また、母語以外には、第二言語とはどの言語を選ぶか。理由は何だろうか。**

私：モンゴル語とロシア語のバイリンガル教育で育てられたエクさんは、将来子供にもバイリンガル教育を与えたいですか。

エクさん：絶対与えますよ。今の時代にはバイリンガルじゃなければいけないですよ。仕事も二つの言語が必要なだけでなく、三つ、四つまで必要の場合もあるし、パソコンも必要な能力でしょう。親として子供の将来のために、もちろん、できるだけ子供たちに一番いい学習環境や言語能力などを与えたいと思います。また、母語以外の第二言語はやっぱり現在世界中の共通言語の英語を選びます。

私：そうですね。英語は確かに誰に対しても重要で基本的な言語能力だと思います。英語はできなければ、たぶん自分の国しか働けないでしょう。それでは、現在モンゴルで子供たちの言語学習の状況はどうでしょうか。

エクさん：普段、家でももちろんモンゴル語で話しています。学校の場合だったら、今モンゴルで私立と公立という二つの種類の学校があって、私立のほうは全部英語で授業を教えています。公立のほうはロシア語と英語で教えています。だから、公立の学校に通っている子供たちは二つの外国語を話せるようになります。

第二言語だけではなくて、母語さえうまく使えないという心配があるか？

もしあれば、何かいい解決策があるか。

私：将来、エクさんの子供がもし第二言語だけでなく、母語さえうまく話せなければどうしますか。或いは英語やロシア語などペラペラ話せますが、モンゴル語を忘れてしまうとすればどうしますか。また、そういうような心配がありますか。

エクさん：何と言っても母語がやっぱり一番大切な言語だと思います。母語さえできない人はたぶん海外でしか働けないでしょう。また、モンゴルでの会社もきっとそういうようであればモンな人を雇わないと思います。だから、学校のクラスメートだけでなく、他のモンゴル人の友達を子供に作らせるとか、家で両親がちゃんとモンゴル語を教えるなどの方法によって、できるだけ子供に自分の母語を忘れないように教えてあげたいと思います。また、ロシア語とモンゴル語のアルファベットは同じで、もしロシア語も必ずできるので、先程言ったように母語が話せないという心配はあまりないと思います。

同時に二つの言語を子供に教える場合には、子供に混乱させないように どんな教え方をするか。また、何か特別の教材を使うか。

私：バイリンガル教育で育てられた子供たちがよくぶつかる問題は二つの言語を混ぜて使っているということです。エクさんはこのへんについてどう思いますか。

エクさん：混ぜて使っている場合は確かによくありますが、それは仕方がないと思います。ただ比較的弱い言語のほうはもっと本やビデオ、テープなどいろいろな面白い教材を子供に読ませる方法によって、子供の言語能力を強化しようと思います。

私：バイリンガル教育のいい面は子供が同時に二つの言語が学べますが、悪い面は混ぜて使うようになってしまいます。もし、子供が本当に困ってしまうなら、エクさんは何かいい解決策があると思いますか。

エクさん：もちろん自然に二つの言語とも学べるのは一番いいと思いますが、もし子供が本当に困ってしまったら、やはり母語がきちんと、完璧にできたあと、第二言語を学び始めたほうがいいと思います。

私：では、もし国際結婚の場合であれば、母語というのはいったいお父さんのほうですか。それともお母さんのほうですか。

エクさん：国際結婚だったら、その時期によって世界的に重要、よく使われている言語を子供に母語として教えます。

感想：

モンゴル語とロシア語のバイリンガル教育で育てられたエクさんといろいろディスカッションして、複数言語を使用するのは私たち、この世代の若者にとってすでに珍しくなく、

ごく普通の現象だと感じてきた。単純でただ一つしか話せない人は逆に少数になってしま
うかもしれないと思う。国々の背景により、第二言語も違っているが、全体的に言えば、
英語はやはり一番重視された言語だそうである。また、ことばは生活を通して身に付ける
ものである。両方とも同じなレベルで身につくということは、ほとんど不可能である。
だから、母語さえうまく話せない子供が確かにいると思う。エクさんの意見では母語が誰
に対しても一番重要なことばなので、できればやはり子供が母語をきちんと学んでから第
二言語が学び始めたほうが良いと思っていて、私もそれについて手放しで賛成した。母語
がしっかり育てない状況では、高度のバイリンガルの言語能力を育てることは難しいと思
う。なぜかという、もし母語が中途半端であると、次のことばも中途半端になる傾向が
あるかもしれないからである。自分が言語の組織能力や判断能力などをきちんと持ってい
れば、二番目それとも三番目のことばの学習も早くなれるので、母語の発達がしっかりし
ていることが確かに次のことばの学習に重要なポイントだと思う。エクさんも私もバイリ
ンガル教育で育てられたが、最初の時、やはり自分の母語を偏重して、第二言語はその後
すこずつ加えて学んでいた。バイリンガルの中に、子供が混乱するかもしれないとい
う悪い面にはほとんど影響を及ぼさなかった。「幼児から中学の初めぐらいまでが、バイ
リンガル育成の適齢期で、二言語でも三言語でも、自然に習得できる」と言われるが、子
供一人一人が持っている性格、知能、言語的適性なども違うので、グローバル時代の潮流
に乗れるために、どうしても子供にバイリンガル、或いはマルチリンガル教育を与えたい
親たちは自分の子供に対して一番効率がよい学習方法を探さなければいけないと思う。

2.《2003.12.05 アンジェラさんと私》

(アンジェラさん：香港出身 テーマ：理想的な体型？或いは、健康？)

バイリンガル教育について、どう考えているか。

皆さんはこういうような経験があるか。

私：アンジェラさんは香港人で、小さいころからバイリンガル教育を受けましたよね。自
分の経験について教えてもらいませんか。

アンジェラさん：香港の場合は普段皆さんが話しているとき、広東語と英語を混ぜて使
っています。でも書くとき、広東語が話し言葉で文字がないので、中国語と英語を使っ
ています。だから、香港の子供たちはバイリンガルではなく、トライリンガル教育を受け
ていると思います。

私：それでは香港の学校の言語使用の状況はどうでしょうか。

アンジェラさん：香港の学校は二つの種類があって、中国系とイギリス系です。中国系の
学校は英語の授業だけ英語でやっていて、他の科目は全部広東語でやっていますが、イギ

リス系の学校は、中国語の授業だけ広東語で、他の科目は全部英語でやっています。

私：アンジェラさんの場合はどうでしょうか。どっちの学校に通っていましたか。

アンジェラさん：私の学校はイギリス系なので、英語と広東語、両方とも使っていますが、教科書はほとんど全部英語で、先生も英語で教えています。もし、本当に分からないとき、先生に「広東語でもう一度説明していただけますか」と頼みます。また、教科書の中に英語と中国語の言葉の対照表がありますが、私たちにとって、やはり英語のほうが覚えやすいし、分かりやすいです。中国語の漢字はちょっと難しいと思います。

私：そうすると、アンジェラさんは英語と広東語で話せるけど、読むと書くのはやはり英語のほうが得意ですね。

アンジェラさん：そうですね。普段友達と話しているとき、みんなも英語と広東語を混ぜて使っていますよ。

**将来、自分が親になってから、子供にバイリンガル教育を与えたいか。
また、母語以外には、第二言語とはどの言語を選ぶか。理由は何だろうか。**

私：アンジェラさんは自分がバイリンガル、それともトライリンガルとも言える教育で育てられたので、将来子供にどのような言語学習環境を与えたいですか。

アンジェラさん：将来、私は必ず子供にバイリンガル教育を与えます。なぜかという、自分もそういうような言語環境で育てられたので、子供にも同じバイリンガル教育を与えたいし、香港ではわざわざバイリンガル教育を与える必要がないと思います。みんなは広東語と英語、両方とも使っているの、基本的に言えば、香港というところはすでにバイリンガルの環境です。

私：ずいぶん前から、香港はイギリスの政府に管理されたので、第二言語はもちろん英語ですけど、この七、八年間前から中国政府に返還した香港はどんな影響を受けられましたか。言語使用の環境は何か変化がありますか。

アンジェラさん：今の香港では中国語がどんどん重要になってきて、マスコミもよく中国語で話しますが、全員が中国語がまだまだ上手ではありませんから、すごく困っています。また、これから子供たちはバイリンガルだけでなく、必ず広東語、英語、中国語のトライリンガル教育を受けなければいけないので、もっと大変になると思いますよ。

**第二言語だけではなくて、母語さえうまく使えないという心配があるか？
もしあれば、何かいい解決策があるか。**

私：アンジェラさんが育てられた環境はみんな二つの言語を使っていますけど、第二言語だけでなく、母語さえうまく話せないというケースが聞いたことがありますか。将来子供にそういうような心配がありますか。

アンジェラさん：自分も周りの友達もみんな自然に二つの言語を学べますから、実は将来子供にそういうような心配がありません。確かに英語と広東語を混ぜて使っている場合はよくありますが、これはたいしたことじゃなくて、大丈夫だと思います。

**同時に二つの言語を子供に教える場合には、子供に混乱させないように
どんな教え方をするか。また、何か特別の教材を使うか。**

私：先言ったように、二つの言語ともうまく話せないという心配がないので、子供が二つの言語を混乱してしまうこともたぶないでしょう。

アンジェラさん：そうですね。また、家庭によって言語使用状況も違います。広東語と英語だけでなく、ときどきいろいろな地方の方言も使っていますから、香港の子供たちは小さいころからこういう複数言語の環境がもうずいぶん慣れてきたと思います。また、子供たちは相手によって違う言葉を使うことができるし、どの言語でも練習機会がいっぱいあるので、うまく話せないとか混乱してしまうなどのケースは本当に少ないと思います。

感想：

特別な国家背景を持っている香港で育てられたアンジェラさんはバイリンガル教育についてたくさん面白い見解があると思う。香港人はみんな少なくとも広東語と英語のバイリンガル、それとも地方の方言なども加えるトライリンガル、クワドリンガルの環境で育てられたので、複数言語が話せるということが日常茶飯事になっている。普遍的に言えば、英語はやはり一番重視された言語で、自分の母語の広東語がただ普通のコミュニケーションができるぐらいレベルがあればもう十分だと思われる。中国語の読む、書く能力は足りなくても、みんなは気にしていなさそうである。

国際化の歩みがどんどん速くなった現在、みんなは複数言語能力があるが、表現するときによくいくつかの言語を混ぜて使って、どっちの言語にしてもあまり完璧ではなさそうである。そうすると、社会全体的から見れば、次の世代の若者たちは知的な水準もだんだん下がっていくという恐れが必ずあるだろう。モンゴルのエクさんと違って、香港のアンジェラさんは自分の子供が複数言語を同時に学んでも、適当に使い分けられると深く信じている。バイリンガル教育のいい面ばかり見ているという楽観主義を持っている人々は今の世界ではかなり大勢いると思う。また、以前はイギリス政府で、今は中国政府が統治している香港はみんなアイデンティティというような意識があまり強くないし、外国で暮らしてもすぐ適応できるし、異文化を受容しやすいそうである。多言語、多文化の環境で育てられた人々のやり方と考え方は確かに他の人よりもっと多元化だと思う。

三、結論

現在、どこの国でも学校の第二言語の授業の時数はだんだん増えてきていて、学習している学生たちの年齢層もだんだん下がってきている。バイリンガル教育はすでに世界中各地に必要な教育制度とも言えるだろう。全体的に言えば、複数言語の環境で育てられた我々は、将来自分の子供にも必ずバイリンガル、それともトライリンガル、クワドリリンガル教育を与えたいようになっている。

バイリンガル教育のメリットは、モノリンガルより言語能力の優勢を占めているし、思考の柔軟性や創造力を高めるし、異文化に対する態度ももっと寛容である。グローバルになってきた現在、社会で優位に立ちたいなら、それは最低条件とも言えるだろう。でも、子供の頃からバイリンガル教育を受けている人はアイデンティティとか国家意識、民族意識など比較的薄い指摘している。たとえば、この前ワールド・カップを行われていたとき、世界中に国家意識が強いとして有名な国、ニッポンや韓国や中国など、みんなは毎回の試合にすごく熱中して、できるだけ一所懸命自分の国のチームに応援していた。一方、多言語、多文化の香港などのところはそういうような現象はあまり見えない。また、以前国際結婚に生まれた子供たちは必ずぶつかった帰属意識も一つ深刻な問題であった。お父さんの国に行っても、お母さんの国に行っても、「外国人」と見られていたし、帰属感がない子供は心理的な不安、迷い、困惑などもどうしても見落とせない問題であった。しかし、アンジェラさんとのディスカッションによると、国際化時代と言われている現在、アイデンティティとか帰属意識などがそんなに重要ではないと思っている人はどんどん増えていくそうである。また、今国際結婚に生まれた子供、すなわち「ハーフ」がよく周りの人にうらやましい目を向けられるということも事実である。さらに、いくつかのことばを混ぜて使っている人は「言語能力が不足だ」と思われるより、「カッコウいいなあ、たくさんの言語が話せるよね！」と思われるほうが圧倒的に多い。国際化の世界観と社会環境などが変わっているに従って、バイリンガル教育の悪い面もだんだん消えてしまうだろう。

現在、政治面から見ても、経済面から見ても、一番強くて、影響力があるアメリカのことば、すなわち英語はやはり一番よく選ばれて、第二言語としてそれぞれの国の母語と一緒にバイリンガル教育を行っている言語である。これから、客観的な社会環境や周りの人々の観念などが多分九十九パーセントバイリンガル教育を妨げにならないとも言えるし、モンゴルのエクさん、香港のアンジェラさんと私自身の経験によって、子供が混乱してしまうということもそんなに大きな問題にならないかもしれないが、子供一人一人が持っている特性はバイリンガル教育がうまくいけるかどうかの成功の鍵になるだろう。時代に遅れないように、子供の将来のために、今まで自分が受けたバイリンガル教育の経験やこれからの複数言語の学習環境など慎重な態度を取って、よく考えるのは今我々に対して一番重要な課題だと思う。

二十一世紀には中国語がどんどん重視されており、母語は中国語である私にとっては、

すごく幸運だと感じている。バイリンガル教育のおかげで世界共通言語の英語とアジア地域で絶対言語条件の日本語とも流暢に話せるので、将来私は台湾だけでなく、海外でも、うまく働けると深く信じている。複数の言語能力を持っている私は自然に母語以外のことばを使って、各国の人々とコミュニケーションする勇気があるので、自分の人間関係の開拓にとっても役に立つと思う。また、これからの生涯計画ももっと広い視野があって、うまくグローバルの潮流に乗れるだろう。

四、終わりに

日本に来てから、早稲田大学の別科日本語専修課程で世界各地の人々と出会って、言語能力の重要性を深く感じていた。このレポートを書きながら、自分のバイリンガル教育の経験をもう一度思い出して整理し、他の国の言語状況もいろいろ勉強になった。レポートを書く過程はすごく骨が折れたが、素晴らしい経験だと思う。楽しいディスカッションをしてくれたモンゴルのエクさんと香港のアンジェラさん、いろいろな意見を教えてくれた担当のみわさんとゆうこさん、レポートをチェックしてくれた梅沢さん、皆さんお疲れ様でした。本当にありがとうございました。

犬に関する文化の差について

ペコペコグループ ティ セツカ（丁雪花）

目次：

1. 動機
2. ディスカッション
3. 感想
4. 結論
5. 終わりに

動機

犬は何の時から初めて人間のペットになったのは分からないが、中国の場合は原始時代の氏族の時から人と一緒に生きたのだ。犬はともかわいい動物だと思う。世界には犬を自分の家族として育てる人もいるし、犬の肉を食べる人もいる。もちろんのことで、犬をペットしている人も食べている人もみんな自分の理由があり、この理由はとても正当だと思っている。不思議だと思うかも知れないけど、私の住んでいる所では本当に犬の肉を食べるのだ。でも、この犬は食べるために育てる犬である。このことに初めにショックをもらったのはワールトガップの時だった。多くの西洋人は韓国人が自分たちがかわいい動物だと思いつつながら家族にして育てる犬の肉を食べているのを見てびっくりしたのだ。後、韓国人は「野蛮な民族」だと非難したのだ。「野蛮な民族」だって？私はこの言葉が不思議だと思う。これは一つの食文化で非難する必要まではない。食べるのも肉犬で牛や馬や羊の肉を食べるのと違いことはないと思う。また日本人と一緒にご飯を食べた時「あなたの住んでいる地方では、犬の肉を食べますね」と言われて、とても困ったこともあったのだ。後、何回もこんなことを言われて私は本当に野蛮人じゃないかと考えたこともあった。特に、ほかの国の友達と話し合う時、彼らが気持ちよさそうに自分の犬のことを話したりするとこんな気持ちがもっと強くなる。私は小さいごろに犬に噛まれたことがある上にペットについて感情が薄い人々の中で生活したから犬を見ると怖いと言うイメージがもっと強い。私はこのようなことは文化の差から起こった誤解で、いろんな文化を分かって理解できるかも知れないと思う。文化と言うのは人類の理想を実現して行く精神的な活動、技術を通じて自然を人間の生活に役立てていく過程で、形作られた生活様式およびそれに関する表現で、国と民族と宗教によって違って、いろんな差があると思う。

でも、人間が最初に動物を自分の家で育てたのはペットとして一緒に生活するためではなくて、基本的な生活のためなのだと思う。社会が発達するとともに人の基本的な生活

に余裕があって、何か楽しみを探ることができたのだ。この一つでかわいい動物をペットにして育てるのであった。猫や豚や鳥のなどいろんなペットのなかでも犬が一番人気があるのはたぶん犬の自分を育った人を裏切らない忠誠からだろう。こんな犬の肉を食べるのはちょっと悪いと思うが、これも豚や牛の肉を食べるような一つの食文化だと思う。私の住んでいる地方にとって、これは昔から伝えて来た習慣とか風俗のようなものである。犬をペットとしている人たちからこんな方面で、理解させられて、こんな文化の差で起こる誤解を避けるし、お互いにコミュニケーションするのに障害がないようにするのは私がこのレポート書く動機である。昔から伝えて来た民族的な食文化を犬をペットにしている人々に説明してくれて、彼らとのコミュニケーションの障害をないようにするのが、私にとってはとても重要な意味があるのだ。ほんとうに、私は野蛮人じゃなくて暖かい心を持っている人として彼らと友達になりたいのだ。

ディスカッション

1. チョウさんと私

(2003年 11月 21日)

私：犬に関する文化はいろいろあると思います。犬はとてもかわいい動物ですが、だれも好きだとは言えません。確かに何の時からペット文化が盛んでいたかは分かりませんが、世界の多くの人たちが犬をペットとして育てています。この反面に犬の肉を食べる人もいますね。チョウさんはこのことを知っていましたか？

チョウさん：はい。知っていました。一度食べたことがありました。

私：チョウさんは中国人ですが、その前には中国のある地方では犬の肉で料理を作っていることを知っていましたか？

チョウさん：一度か二度ほど聞いたことはありましたが、ずっと信じられなくてこれは噂だと思いました。

私：では、今はどのような気持ちですか？納得できますか？

チョウさん：はい、納得できます。いろいろ考えて見るとそんなには不思議なことではないと思います。

私：どうして多くの人不思議だと思えることを納得できるし、自然的に見ることができるんですか？

チョウさん：実は犬の肉を食べる人のために怒る必要はないと思います。人々はみんな自分だけの生活の方式と習慣を持っていると思います。これは国とか民族の習慣とか風俗と関係があるかも知れません。

私：そうですね。私もこのように思っています。日本人は鯨の肉を食べると聞いたことがあります。また、中国人は蛇とか猿の脳髓も食べますね。今こけぶりとか蜘蛛を焼いて食

べる人もいるしねずみの肉を食べる国もあります。何を食べるかはその国と民族の習慣とか考え方と関係があって、人類に害をもたせない限り非難する必要はないと思います。日常生活で、多くの人たちは豚や牛や鶏の肉をたべます。肉は人に栄養をたくさんもたらしてくれ、多くのひ人たち特に西洋人にはなければならぬ食べ物だと私は思っています。で、何で豚や牛や鶏の肉をたべるのは食文化と言いますが、犬の肉を食べるのは食文化と言わないにかちょっと理解できません。

チョウさん：そうですね。... 私は犬の肉を食べるのもほかの肉を食べるのと同じように食文化だと思っています。もし違うところがあると、人数と民族だと思えます。犬の肉を食べる人よりもペットとしている人が多いからこそこの文化の差がもっと大きくなったかもしれません。もしある人がインドに行ってインド人が神様のように考えている牛の肉を食べたら、もしイスラム教徒の集まったところで彼らが祖先として神聖だと思う豚の肉を食べると 同じように非難されますよね。分からなくて食べても大きな国際紛争を起こるかも知れません。

私：そうですね。 ワールドギャップの時のこともこのような意識の差のため、韓国じんは非難されたと思います。ほかの国の人たちがペットとしている動物の肉を食べたからこそ非難されたかもしれませんね。でも、今犬をペットとして育てる韓国人は犬の肉を食べないそうですね。これはだんだん同じ方向へ流れている国際的な意識の具体的な例だと思います。

3

チョウさん：そうですね。

私：でも、私の住んでいる地方で犬の肉を食べるのは昔からの飲食習慣ですよ。韓国では犬の肉のスープを「ボシントン」と、北朝鮮では「ダンコキ」といいますが、これは「体にいいスープ」、「甘い肉」と言う意味です。もっと面白いなのは、中国語と韓国語、北朝鮮語（韓国語と北朝鮮語は創造者が同じで、単語とか一部の表現が違うだけで文法は大体同じ）で、人を叱る言葉として一番多いのは犬が入っているのです。

チョウさん：本当ですか？韓国語、北朝鮮語も同じですね。びっくりしました。

私：そうです。中国語にも確かに多いです。では、チョウさんは犬を育てたことがありますか？

チョウさん：はい、あります。生まれたばかりの子犬から育てたことがあました。とてもかわいい犬でした。

私：その犬チョウさんに忠誠したのでしょうか？犬は人の気持ちをよく分かりますが。

チョウさん：そうです。犬は本当に人の気持ちをよく分かりますね。私が気持ちが悪い時に、犬は私の前にちゃんと座って「サンクンちゃん、何があったの？」と言う目に私をみます、そうすると私はすぐ気持ちがよくなって、犬を撫でると「何もなかってよかった。」と言うように尻尾を振ります。

私：本当にかわいい犬ですね。 で、今だれかがチョウさんを誘って犬の料理の店に行くと言いますか？

チョウさん：私は犬は人間のいい友達と思います。私はペットとしている犬はぜったいに食べません。でも、お店の料理の材料としての野蛮的な犬の肉は食べるかもしれません。

私：では、チョウさんは私のような民族の人と友たちになることができますか？

チョウさん：今テイさんと私はもう友達じゃないんですか。友達と言うのはお互いに理解する気持ちが一番重要なのです。

私：はい、わかりました。チョウさん、どうもありがとうございます。

チョウさん：どうもありがとうございます。

2. 私とアンジェラさんとアンダさん

(2003年12月1日)

私：日本に来て一番最初に気になったのは日本人の犬についての感情でした。朝、外に出ると犬を連れて気持ちよさそうに散歩するのを見ることができます。犬をペットとしているのは日本だけでなく、今世界的にも多くの人が犬を家族のように対しています。アンジェラさんとアンダさんは犬をペットとして育てたことがありますか？

アンジェラさん：私は犬が嫌いから育てたことはありません。

アンダさん：私は犬はとてもかわいい動物だと思います。人の言葉をよく聞き、人に忠誠するからね。でも私はイスラム教徒だから犬を育てたことはありません。

私：ああ、そうですか？宗教的にも犬に対⁴した感情が違いますね。で、何でイスラム教徒は犬を育てないですか？

アンダさん：これは犬のつばめは不潔だと思うからです。でも、今犬が好きな人が確かに多いそうですね。ペトルームやペット病院やペットショップやペット休憩室などいろいろあるし、多くの人たちは値段がいくら高くてもお金を使いますね。

私：そうですね。でも、私の住んでいる地方では彼らと違って、犬の料理を食べる人がいっぱいいます。犬の肉の料理はとても人気があって、多くの観光客もよく食べます。アンジェラさんとアンダさんはこのことを聞いたことがありますか？

アンダさん：はい、このことではないが、犬の肉を食べる人がいるのは知っています。インドネシアにもこんな民族が住んでいますね。今セッカさんの話を聞きながら。またある民族が犬の肉を食べるかも知らないと思いました。

アンジェラさん：私は初めに聞くのです。では、セッカさんは犬を殺すことを見たことがありますか？

私：はい、小さな時見たことがあります。見ながら人間は悪いと思いました。でもほかの動物を殺すのも同じように悪毒だと思います。

アンジェラさん：かわいそうですね。肉を食べるために動物を殺すのは本当に悪毒ですね。

私：私も同じように思っています。でも豚や牛や鶏の肉を食べる人はこんな動物について感情がちょっと薄いとおもいます。私の住んでいる地方もペット文化が盛んでないか

ら犬について感情がちょっと薄いですよ。それに昔からそのように犬の肉を食べたから、今突然止めるのはちょっと無理だとおもいます。これは食文化だから。でもペットとしての犬は絶対に食べません。

アンジェラさん、アングさん：そうですね。

私：ディスカッションしながら犬についてのもう一つの文化を分かることになって、とても嬉しいです。どうもありがとうございます。

3. ディマさんと私

(2003年 12月 8日)

私：ディマさんの住んでいる所では犬を育てる人が多いですか？

ディマさん：はい、多いとは言えないけど犬を育てる人がいます。特に私の住んでいるところに非常に多いですね。

私：犬に関していろんな文化があって、差もあると思いますね。ディマさんは犬を育てたことがありますか？あつたら犬にどんな感情を持っていましたか？

ディマさん：はい、あります。三年前から育てた犬がいますが、今まですごく好きな動物です。僕の犬は超かわいくて、はちのようにいつも動いています。毎日その犬を見ると気持ちよくなります。犬は僕にとっては家族のような存在です。

私：え？ほんとう？超かわいいディマさんの犬を一度見たいですね。では、ディマさんはどんな犬が好きですか？ 田舎で育てる値₅段も低く、格好もかわいくない犬も好きですか？ 或いは値段の高い犬がすきですか？

ディマさん：実は僕は自分の犬が大好きだからほかの犬が要らないと思います。また、値段が高ければいくらかわいい犬でも買いません。犬を買うのにはかなりのお金が必要とおもいます。実にそんなに高い犬を買う必要もありません。

私：そうですか。後ね、世界にはこんなこともあります。あるお金持ちは自分の遺産を自分の息子や娘にくれなくて自分が育てていた犬にくれる事もあります。ディマさんはこのことをどう思いますか？もしディマさんの親がこのようにしたらどうしますか？

ディマさん：へー？！そんなことは考えたことはありません。普通の犬は15歳まで生けるから両親も遺産をくれるはずがありません。もしかしてそんなことがあるとその犬を育てつもりです。

私：犬ディマさんの考え方も超おもしろいですね。犬の肉を食べる人もいることを知っていますか？このことをどう思っていますか？

ディマさん：セツカちゃん、こめんね。僕はこのことをぜんぜんわかりませんでした。また、犬の肉を食べるのもとても悪いと思います。私はこのことを納得できません。

私：もしディマさんが旅行の時これが犬の肉のことを分からなくて、その肉を食べました。あとでこのことを知ったらどうしますか？

ディマさん：料理を作った人を殺すほど怒るかも知れません。自然に気持ちが悪くなるからね。

私：では、ディマさんは鶏や豚や牛の肉はたべますか？もし食べると、どうして同じ動物なのに鶏や豚や牛の肉は食べてもいいと思っていますか？どうして犬はだめだと思えますか？

ディマさん：これはおもしろい質問ですね。どうしたらいいかなあ～！まず犬は人の友達にできますね。犬は主とすごく緊密な関係があり、人との感情もとてもいいです。でも鶏や豚や牛からはこんな感じがありません。

私：だったら、ディマさんは犬の肉を食べる民族の人と友たちになることができますか？私もそんな民族なのに...もしできたらこの民族をどう思いますか？

ディマさん：友達になるのは犬の肉を食べるか食べないかは関係がないと思います。人を殺す悪い人の以外はだれも僕の友達にできることができますよ。犬の肉を食べることはね、人によって違うと思います。僕は絶対に食べないけど、僕の目に見えないところで食べるのは大丈夫と思います。

私：よかった！ディマさん、どうもありがとうございます。

ディマさん：ありがとうございます。

感想：

チョウさんとアンジェラさんとアンダさん⁶とディマさんとディスカッションしながら国、民族、宗教などによって文化の差は確かに存在していると思った。

チョウさんとディスカッションしながら一番深く感じたのは中国のペット文化の薄さだった。チョウさんは世界都市としての上海人で、上海もペット文化が別の地方よりは盛んでいるそうだ。チョウさんは自分で犬を育てたこともあるし犬の肉を食べたこともある。あと犬の肉を食べる人がいることについてもびっくりしたりするとか怒ったりするとかそんな感じがぜんぜんない。むしろこのような反応に私がびっくりしたのだ。これは中国の食文化とペット文化と関係があると思う。中国の食文化は世界でも有名なので、食べ物はないものがないと言っても過言ではない。その数も多くて、中国で一生にできないこととして、全国の料理を全部食べられないともある。そんな中国料理の中で少数民族としての朝鮮族の犬の肉の料理が新鮮さとか襲撃があるはずがない。もう一つは中国にもペット文化が盛んだことがあって、多くの人たちが犬や猫や鳥を育てたのだ。でも比例的にはとても少ない人数である。中国で一番歴史が古いペットは鳥である。でも昔から多くの中国人は別の鳥の肉は焼いたり炒めたりして食べたのだ。だから普通の中国人にこのことは襲撃がなくてもおかしいことではないと思う。

アンダさんとディスカッションしながら宗教的な原因でも犬についての感情が違うことを分かったのだ。後インドネシアにも犬の肉を食べる民族がいるのにもびっくりした。食文化と言うのは異質性の中に共同性もあるのも感じたのだ。アンジェラさんとディスカッションしながらちょっと不思議な感じ。小さい時、最初に犬を家族のように育てるのを見たの

は香港のドラマでだった。だから、私の頭の中には香港人は犬が大好きだと言うイメージが強かった。でもだれも犬が好きだとは言えない。私が犬の肉を食べる人がいると言った時にも彼女の表情は平気だった。アンジェラさんとアンダさんとディスカッションしながら私はこんなことを昔から知っていた人と犬に感情が薄い人はこの事実を受け受することがちょっと難しくないかなあと思った。

ロシア人のディマさんとディスカッションしながら私はずっと何かに押されている感じだった。彼も授業の中に「中国には犬の肉を食べる民族がいるってほんとうですか」と聞いてびっくりしたことがあったのだ。彼は犬は人間の友達だと思っていて食べるのは絶対にだめだと言っていた。でも、いろいろディスカッションしながらこのことをちょっとずつ受け受することができて、とても嬉しいことだと思う。

結論：

犬と言うと多くの現代人はかわいいペットだと思うかも知れない。ペット文化はいつからこのように盛んだかは分からないが、今多くの人が犬を家族にして、友達にしているのに違いない。これはいつまでも自分を離れなくて自分のそばを守ってくれる犬の忠誠に原因があるかも知れない。この半面に犬と言えばこれはおいしい料理、おいしいスープの材料であること思い出す人もいる。彼らが犬が好きなのは犬の肉の料理のおいしさとその栄養価値かも知れない。そんな二つの場合の、⁷人がコミュニケーションしたらどうなるのか。

実は私はこのことのためにこのテーマを選び、いろいろ重要な話しながら、一生懸命このことを説明した。犬をペットとしても家族にしても友達にしてもこれは一つの生活の方式である同時に文化でもある。犬はいやな動物だと思っているのも原因的に文化の要素がある同時にこれも文化である。例えばイスラム教のようだ。犬の肉をたべるのも文化的にだけ説明することができる。これは昔からずっと伝えて来た飲食の習慣とか風俗のようことであるなら仕方がない。この中で、一番重要なのはどのようにこんな文化の差から起こる誤解をなくして、自然的にコミュニケーションするのかといることだ。

ディスカッションしながらも私はずっと何かに押さえられているような気持ちになった。もし相手が私の話しに怒って野蛮人だと言われたらどうしようかと言う心配をいつも持って話し合ったのだ。本当に私はそんな乱暴な言葉を言われる覚悟を持ってディスカッションしたのだ。でも私がとても嬉しく感じたのはみんなこのことについて文化的に理解して、何も言わなかったのだ。実は私の心配は要らないものだった。自分自身だけで心配していて、相手は全然気にしなかった。このことについて説明すると世界は広いからそんなこともあるかも知れないと言う気持ち持って聞いてくれたのだ。本当に嬉しい！無事にディスカッションをできでほっとした感じ！今も彼らと友達になることができで本当に幸せだと思う。

いろいろディスカッションしながら私は文化と言うのは国とか民族とか宗教の影響をもら

って、きっといろんな差があるようになっていくことを感じた。また重要なのはどのようにこの差を理解して、受け付けるのかということだ。私とディスカッションした方はみんなこのことをよく理解してくれて、とてもうれしかった。後、私は文化と言うのは他人の文化を自己化にして理解するよりももとの姿をそのままに理解し、お互いに尊重してくれるのがもっとコミュニケーションを進むことを感じたのだ。また異文化の中で共同性を探して話し合うのがもっといいコミュニケーションになるのも分かることができた。

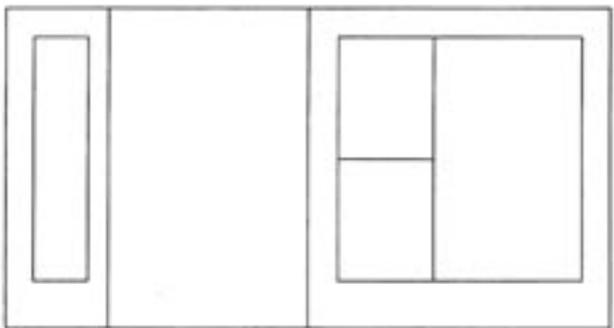
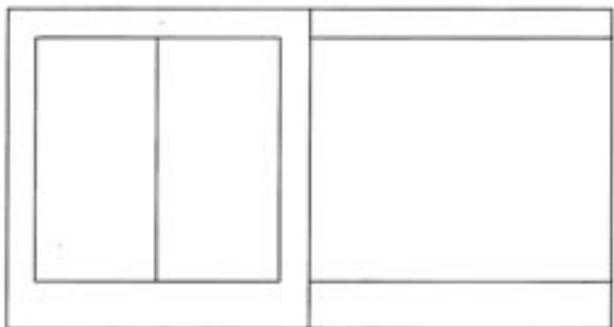
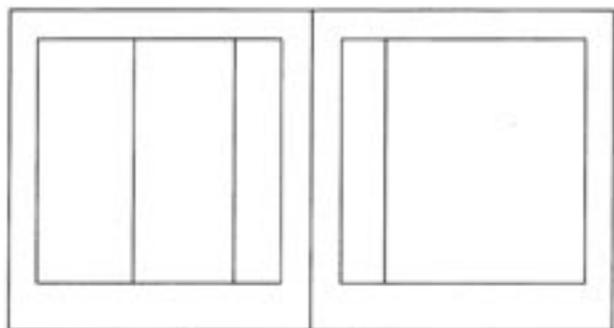
終わりに

三ヶ月にかけてレポートを完成することが出来てとてもうれしい。今考えるといつも心配しながらディスカッションしたこととてもおもしろい。でもやさしいディスカッションの相手を探して気持ちよくディスカッション出来てよかったという気持ちがある。後、私の友達になってくれてどうもありがとう！

三ヶ月の間にペコペコグループのメンバーと集まっているいろいろ話し合ったりコメントしたりしながらとても楽しい時間になった。日本語のレベルのアップすることになってとてもうれしい。いつもやさしいみわさん、裕子さん、いろいろ助けでくれてどうもありがとうございます！

本のデザイン

クレイグ
モド



動機

私は、七年前からデザインや、アートなどのことをやっている。そういうことについてレポートを書きたいと思う。特に、プリントデザインに興味がある。プリントということはウェブやデジタルではなく、雑誌や、本や、ポスターなどのものである。プリントという物は手で触れられるし、臭えるし、なめられる物である。デジタルメディアより、プリントメディアの肉体的の方が面白いと思う。

私は去年の夏に日本の雑誌でフリーランスとして記者の仕事をしていた。その雑誌の編集主任としたいに仲が良くなり、さまざまな談論が出来た。彼は昔から出版社を作りたいと言った。夏の終わりに私に「この仕事をやめるよ。出版社作ろう」と言ったから、一緒に作った。

今まで、デザインについて、デジタルメディアのデザインしかやらなかった。デジタルメディアは楽しいけど、さまざまな大変めんどろなことがある。例えば、ウェブサイトを作るために、デザインの時間より、全部のウェブブラウザで全部が同じに見えるようにしなければならないことはもっと時間かかる。私は、そういうブラウサーの問題を考えたいほうではない。昔から(八歳ぐらいからプログラミングをしていた)パソコンのことをやっていたのに、最近技術面はだんだんよわくなってきて、アート面への興味の方が強く感じるから、まじめなパソコンのことをやめて、こういう本のデザインのことをやりはじめた。

私は本の興味を持っている人と話すのは楽しくて、話すことで経験が広がると思う。特に、もし一つも一人で読んだり、一人で考えたりしたら、自分

の考え方しか見えない。それで、私はほとんど「こういう本がいい」とか「どんなデザインのことに注目すればいい」という質問は自分でいっぱい考えたことがあるけど、他の人の考え方は今まで尋ねてみたことがない。

本のデザインを考えなくても、ただ本が好きな人と話せば、さまざまな「これをした方がいい」、「こうすればいい」というデザインの意見も出てくると思う。普通の本を読んでいる人はだいたいデザインの事を考えない。そういう本が好きだけど、デザインは特に興味ないひとはかならず潜在意識(subconscious awareness)に「こういうデザインはいい」と言う意見があると思う。だから、この総合授業で強く本の興味ある人、本の大好きな人としゃべれるのはいいチャンスだと思う。それで、皆の意見で、もっと完ぺきな本を作れることができると思う。

この上の理由でこのテーマを選んだ。

審議

本を作るのは基本的に大変複雑な過程である。

一般的の部分は:

- 一 カバー
- 二 活字
- 三 紙
- 四 本のサイズ(広さ)

私にとって、本は非常に大切なものである。今、本のデザイン会社もやっている。私の意見では、本は一冊ずつに特別な魂がある。もし、本の内容が作家の心から来る物だったら、その作家の特別な味は内容の中に残っていると思う。この作家の特別な味から、その本の特別な「魂」も残っている。その魂のために本をデザインすると、本だけではなく、「文学の物体」になるという感じがする。こういう「文学の物体」という本にはデザインも内容も大切ということである。こういう本は非凡な性質がある。普通の本にとって、一番大切なことはその本の内容であるが、「文学の物体」は、内容も大切だけど、デザインや、本の感じも大切である。「文学の物体」は普通の本より、もっと芸術的な本である。

一。カバーについて

本屋の中には様々な本があり、一冊ずつは違うカバーがある。消費者にたいして、本のカバーは初めて見る物であり、大体いいカバーだったら、本の内容に目を通す。本屋の中には、本だらけだから、本を売るために一番大切なことはその「気にいって、見る」行動である。

九割ぐらいのハードカバーの本のカバーは普通の紙で作っているものである。その別の一割は様々な物で作っている。例えば、紙なしで、本のハードカバーに直接に印刷することもあるし、プラスチックなどにも印刷することある。

どしてそうなのだろうか。カラーで印刷するのは結構高つくつので、紙を使う。

売れるために、本のカバーの面白さは大切で、良い写真や、カラーがいっぱいの絵などをカバーに付ければ、普通の消費者は気に入ると言う考え方が出版の世界にある。それで、紙にそういう写真などを印刷するのは安いから、経済的には楽なことである。しかも、カバーの後ろにレビューや、引用などを付けられる。しかし、本を買ってからの使い方について、カバーはちょっと邪魔で、不便なものになるらしい。

例えば、イエンスさんと話した時には、彼は「だいたいカバーを捨てるよ」と言った。「だって、本を読みながら、カバーは滑ったりするから、めんどくさい。」

キャスパーさんも本のカバーが好きではないと言った。「本棚にはカバーなしの方がすてきだと

思う」と言った。

のりこさんはカバーを捨てないと言ったけれど、本の帯は捨てる。「はずれちゃうから」と言った。

私はだいたいカバーを捨てないけれど、使わない。つまり、カバーを外し、別の所においておく。私も、カバーが滑るのが好きではない。たまに美しく、変わっているカバーがある。その場合には捨てるのがまったく出来ない。

私の意見に、買う前の本と買った後の本と比べると同じものではない気がする。総合授業の学生と話した後、「一番いい本の作り方はなんだろうか」と考えた。もちろん本によって違うけれど、一般的には、いいカバーを作ることは本の帯である。

帯は実際に価値のない物である。普通に捨てるものである。だから、紙のカバーの代わりに、ちょっと太い帯を使えばいいと思う。帯には引用や、本の内容の説明などを印刷出来る。本の内容はカバーに付けるのはおかしいと思う。例えば、本を買って読んだ後に、自分はその本の内容もうちゃんと知っているから、カバーの説明はもう全然いらぬ。だから、売れるための部分は買った後に捨てるように作った方がいい。そうすれば、紙のカバーなしで、帯を捨ててから、外れる物もない。読みながら邪魔なこともなくなる。

しかし紙のカバーを使わないと、売するための写真などは安く印刷することが出来なくなるらしい。それは正しいけれど、普通の写真などの代わりに、もっと創造的な、簡単なカバーを作れば、売れると思う。普通の紙のカバーなしで、ハードカバーで印刷すると、その本はめにつきやすい気がする。

とにかく、本のカバーはどうやって選んでいるのか。のりこさんと話した時には、その質問が起こった。だいたい本のカバーの選び方は作家の見より、出版社の意見の方が強い。結局出版社は本を売りたいから。でも、作家が大変えらい人なら、契約で本のカバーが選べる。例えば、キャッチャー・イン・ザ・ライの場合には、サリンジャー先生はカバーを選んだ。彼は本を作る理由は売るためではなく、自分のためだから、選んだカバーは非常に簡単である。契約で普通の活字で、出版社は本のタイトルしか印刷すること出来ないことに決めた。キャッチャーは古い本なのに、現代にもあんな簡単なカバーで売っている。例えば、村上春樹先生のキャッチャーの新しい訳にも簡単なカバーを使っている。(そのカバーはいいけれど、やはり、カバーを外したら、もっと簡単、優雅な本が現れる)

二。活字について

活字について、第一は読み方である。複雑過ぎて、読みにくい活字は無駄である。特に小説の場合に、長時間読み続ける人にとっては、読みやすくないときつくなる。活字が複雑だったら、長い時間見ると目がすぐ疲れてしまう。運良く優雅で、読みやすい活字は結構ある。だいたいどんな本の内容にたいしても、びつたりの優雅な活字がある。

活字はほとんど意識下なものだと思う。つまり、だいたい誰も気づいていないものである。私の意見で、「文学の物体」を作るために、上手に活字を選ぶのはとても大切な気がする。本内容を活字で表すのは大変必要なことである。

一冊の小説や、一つの話や、一つの記事など、全ての文学の物はその物の内容にたいして、特別な声がある、特別な魂がある。三〇年代の小説(「キャッチャー・イン・ザ・ライ」)の声と八十年代のSF(「1984」)の小説の声は全く違う。両方は両方の個人の声を表す活字で印刷するべきである。活字は微妙なものだから、読んでいる人は「この本の活字とあの本の活字は違うよ!」と思わない(デザイナーではなかったら)けれども、意識下で、本の感じが違うのを感じるかもしれない。活字をつくるのは微妙だから、うまくなるのはけっこう時間かかるらしい。現代の一番有名な活字者は何一〇年もうずっと活字を作ったり、選んだりしてきた。



三。紙について

本の紙は他の部分と比べ、一番具体的な物である。つまり、カバーより、本の紙は読んでいる人にもっと触られるものである(カバーはもちろんいつも触っているけれども、内容の紙と対話の方が多と思う)。

やはり、様々な紙があり、印刷したいものによって、特別な紙がある。写真を印刷したい場合に、つるつるな、値段が高い紙は必要である。活字だけ(小説など)の場合にはどんな種類の紙で印刷出来るけれども、紙によって本の感じが変わる。これは非常に大切な点だと思う。カバー、活字、紙、全部は作っている本の内容を表さなければならぬ。そうすると、「文学の物体」は出てくる。

選ぶ紙は選んだ活字を表した方がいい。しかし、昔の活字は、作った時には、ざらざらな紙しかなかった。その昔の紙はたくさん味あった。こういう紙を考えながら、活字者がそれに合う活字を作った。現代にも、けっこう古い活字をよく使って

いるから、昔からあった紙のこともちゃんと考えた方がいい。

総合授業で様々な、紙について元氣な討議ができた。

のりこさんはざらざらな紙が好きらしい。やはり、本の匂いは紙によって変わる。のりこさんの意見では、ざらざらな紙の匂いは自然と言った。「古い本の匂いが大好き」と言った。「古本屋のどくどくな匂いは特に好き。カビのせいかな。。。」「つるつるの紙は葉の匂いがあり、気持ち悪い」と言った。

やはり、新しい雑誌の匂いと五〇年代の本の匂いは全然違う。

イエンスさんは小説の場合にはざらざらの紙の方がいいと言った。でも、写真や絵などの場合には、もうちょっとつるつるのが好きだと言った。活字に合わせていろいろな種類のかみを使うために、印刷会社には想像できないほど多様な紙がある。

ガサガサ紙



四。サイズについて

サイズは本一番功利的な部分だと思う。芸術的な本は大変小さく作る。あるいは非常に大きく作る。やはり、芸術的な本の内容に対して形が変わる。私の経験では、重さ二〇キロ以上の写真の本や、厚さが一〇センチもない写真の本も見たことがある。

小説について、様々な考え方もある。例えば、初めて本を出す時には、だいたい全ての出版社はハードカバーで作る。そのハードカバーを売り切ったら、次はペーパーバックで出し、それからもう一度ハードカバーとペーパーバックを出す。一般的

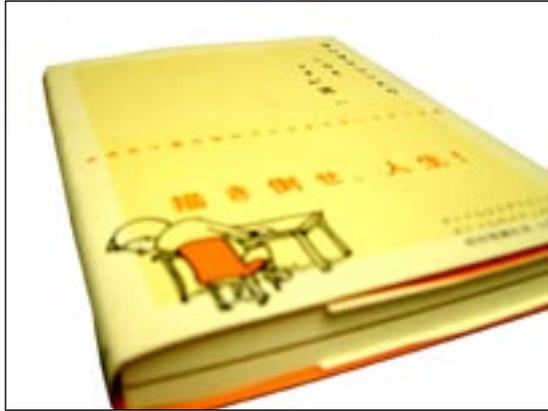
には、ペーパーバックのサイズは、ハードカバーより小さい。ペーパーバックの便利な点は、小さいから、印刷するのは非常に安い。リュックに入れたり、ビーチに持っていけたり、旅行をしながら、簡単に持ち歩くことが出来る。

のりこさんも、イエンスさんも、キヤスパーさんも本を買う時にサイズを考える。のりこさんはペーパーバックの本は最近小さいから、ペーパーバックの本をあまり買っていないと言った。「ハードカバーの方が大きくて、本棚に面白い。」と言った。



毎週の本

私は毎週様々な本を授業に持って来た。皆さんは私と話しながら、その本を見てた。



ヨシタケシンスケ

「しかも フタが無い」

この本は皆がかなり好きだった。この本の内容はいろいろな大変小さな話で作られている。一つ一つ話に手作りの絵がそえられている。みわさんとりのりさんはこの本がかわいいと言った。なぜこの本はかわいいんだろうか？この本の内容はもちろんである。一つ一つの話はみじかくて、絵はとも手作りっぽくて、小さい。絵は手作りっぽいかから、絵の線は荒々しく書いてあるし、味いっばいで、非常にあたたかくてかわいい感じが出ている。この本をデザインした人はその内容を考えながら、本のカバー、活字、紙とサイズをちゃんと考えた。本のカバーはとても簡単で、面白い。一つの荒々しい絵が印刷されている。カバーの下にも、様々なかわいくて、味のある絵も書いてある。これで、このカバーは大切なものになる。こういうカバーは本の内容を表す。

この本の活字も内容を表すと思う。この活字は絵と同じ感じで、手作りっぽくて、全部の字、一個ずつは手で書いたみたい。普通の本と比べてい

ると、この本の字はそんなに多くないから、こういうことをするのはそんなに大変ではないが、手で書くと、機械で書くより、もっとあたたかいイメージが出る。最初から終わりまで、全部が手作りの感じである。

この手作りっぽい場合には、つるつる紙を選ぶと、本のイメージは必ず悪い方に行ってしまうが、この本のデザイナーは非常に似合っている紙を選んだ。選んだ紙はざらざらといい匂いの紙である。大変自然な匂いである。

この本のサイズは普通の日本のハードカバーよりちょっと小さくて、太い。それでもかわいい感じは出る。この本は本当に全ての部分において、本のイメージを考えながら作ったようだ。



Richard Avedon

「肖像画法」

RICHARD AVEDON PORTRAITS

この本はさきほどのより冷たいと思う。この写真家 (Richard Avedon) はとても優雅で、正確で、ミニマルな写真を作る。彼はいつも白黒の写真に、真白な背景をよく使うので、彼の写真はちょっと冷たい感じがする。

この本の基本的な目的は彼の写真を見せることである。読んでいる人々がはっきり彼の写真に焦点をおける。この本の全ての部分は彼の写真の作り方を表していると思う。

この本を授業で見せた時に、皆はけっこうショックな顔をした。本の内容もびっくりさせるけれども、本の形もびっくりさせる。この本は普通の本ではなく、全部の写真を同時に見られるために、全てのページは広げることができる。つまり、アコー

ディオンのような形になる。それで、この本のカバーはとてもハードな物で作られ、伸びている本を支えるためにある。こういうカバーで、この本は普通の本ではなく、こういう重いカバーで、非常に個性的な物体になる。

やはり、この本の紙も普通より重い。実は、紙ではなく、ボール紙で作ったらしい。これも本の使い方を表すために選ばれた物である。こういう紙ではなかったら、この本は自分で立つことが出来なくなる。さらに、この紙は、彼の写真の作り方を表すために、極々つるつるな紙である。彼の写真はこの紙で印刷されたことで生かされている。

彼の写真は大きくて、人間の人生より大きいから、この本のサイズも普通の本より大きい。でも写

HARRY N. ABRAMS, INC., PUBLISHERS
THE METROPOLITAN MUSEUM OF ART



真を表すためだけでなく、やはり、このサイズは彼の写真をはっきり見せるためにも選んだ。この本を最後まで伸ばし、机などの上におくと非常に面白くなると思う。総合授業でそのようにして見せた。皆は「えええ。」と言った。そして、皆は写真を見たり本をさわったりした。みわさんは特に好きだったようだ。大切に見たり、持っていたりしていた。

最後に、この本の後ろにはこの写真家の歴史が書いてある。やはり、彼の写真と同じふうに、白スペースは多くて、選んだ活字は普通よりもちょっと大きく、とてもきちんと印刷された。この本は「文学の物体」に間違いない。



結論

本を作るのは複雑な過程である。「いつもこうしなければいけない」と言えない。基本的なことについて、やるべきことはあるのだけど、全部の本に使わなければならないわけではない。今まで言った通りと違うみたいかもしれない。しかし、デザインをする時には、第一のことは自分のセンスを聞く。例えば、もしかしたら、ある内容の魂に一番表している活字はとても読みにくかったら、読みにくくても、使うべきだと思う。もちろん、そういう場合はめずらしいけれど。

私は、今まで述べたことを信じる。私の意見で本の美しさも、内容の力も大切だと思う。もしかしたら、ある本は美しく、内容はとても悪くて、誰もその本を買わないかもしれない。逆に（内容はすばらしいけれど、デザインが不細工）そうではないかもしれない。でも私にとって、一般的にいいデザインと直感的な物が好きである。だから、自然に本の世界でもその興味ある。

このレポートは本作りについて書いたものである。でも私はこのレポートの情報を本を全然作るつもりではない人々も使ってほしい。本知識の作り方が詳しく分かると、一般的に本の価値をにんしきすることが出来る。ワインも同じが言えると思う。少しでも知識があれば、一般的に飲んでいるワインが美味しいかどうか分かる。このレポートを読んだ後、皆さんが本屋へ行く時にどうい本が大切に作られたかどうかもっと強く感じる事が出来たら、と私はうれしく思う。しかも、本を読みながら、その本の特徴を考えられる。もし、うまく作られていたら、その本をもっと好きになれると思う。ワインなら、どんなビン、どんな作り方で呑めば、酔

っぱらせるだろう。でも、大切に作って、そのワインのぶどうを表すように作ったら、味はかならずばらしくなる。よみにくい活字を使っても、不便なサイズで作っても、気持ち悪い紙を使っても、その本を読むことが出来る。しかし、もしその本作りにおいて内容、魂、を表したら、その本は読者にすばらしい印象を与える。



使っているイメージについて:

ページ 一

左の絵、「The Elements of Typographic Style」、(作家 Robert Bringhurst) ページ百六十九

ページ 五

右の日本語手作り文字、「Envisioning Information」という本本当にすばらしい本(作家 Edward Tufte) ページ五二

使っている活字について:

ヒラギノ ぶんちょう プロ

Minion Pro